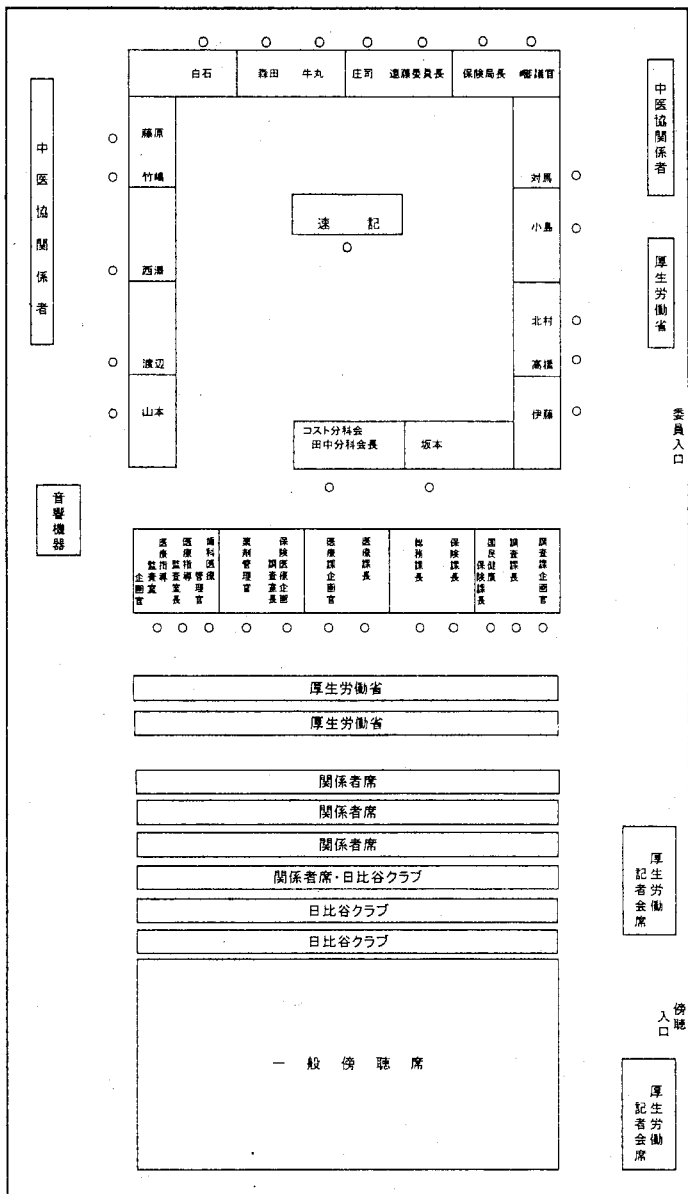


日時:平成21年7月29日(水) 11:00(目途)~12:00
 会場:厚生労働省 専用第18~20会議室 (17階)



中央社会保険医療協議会 診療報酬基本問題小委員会 (第139回)
 議事次第

平成21年7月29日(水)
 於 厚生労働省
 専用第18~20会議室

議 題

- 診療報酬調査専門組織医療機関のコスト調査分科会からの報告について
- その他

中医協 診-1-1
21.7.29

診療報酬調査専門組織・医療機関のコスト調査分科会からの報告

平成21年7月29日

分科会長 田中 滋

1. 平成20年度医療機関の部門別収支に関する調査報告(案)

平成20年7月16日の中央社会保険医療協議会診療報酬基本問題小委員会において了承を得た平成20年度医療機関の部門別収支に関する調査の調査結果をとりまとめたので報告する。

2. 医療機関の部門別収支に関する調査の今後の方針について(案)

本分科会における医療機関の部門別収支に関する調査の今後の方針(案)について報告する。

平成 20 年度

医療機関の部門別収支に関する調査報告

目次

I	調査の概要	1
1.	目的	1
2.	調査の対象	1
3.	調査の種類と回答施設	1
4.	調査対象期間	3
II	調査内容	4
1.	診療科部門別収支の計算方法	4
2.	計算単位	4
3.	科目	6
4.	調査種類と内容	6
III	計算結果（概要）	7
1.	基礎数値	7
2.	留意事項	8
3.	収支計算結果	9
IV	計算結果（集計）	13
1.	レセプト診療科と診療科群の対応	13
2.	収支計算結果（レセプト診療科別）	14
3.	収支計算結果（診療科群別）	17
4.	収支計算結果（主要なレセプト診療科別、開設者別）	19
5.	収支計算結果（主要なレセプト診療科別、DPC 対象・準備病院別）	25
6.	（再掲）透析部門・健診部門収支	31
V	計算結果（図解）	32
1.	患者一人一日当たり医業収益・医業費用分布（レセプト診療科）	32
2.	患者一人一日当たり医業収益・医業費用分布（診療科群）	38

3. 収支率の分布（レセプト診療科）	41
4. 収支率の分布（診療科群）	51
VI 等価係数	55
1. 給与費等価係数	55
2. （参考）材料費等価係数	63

I 調査の概要

1. 目的

「医療機関の部門別収支に関する調査」（以下「部門別調査」という。）は、平成15年度から平成19年度までに実施された「医療機関の部門別収支に関する調査研究」において確立・検証された診療科部門別収支計算手法を用いて、病院における医業経営の実態等を診療科別に把握し、社会保険診療報酬に関する基礎資料を整備することを目的として実施したものである。

2. 調査の対象

病床種類が主に一般病床で構成されるDPC対象病院・DPC準備病院のうち、レセプトデータをレセプト電算処理フォーマットで提供できる病院または「DPC導入の影響評価に係る調査」のEファイルを提供できる病院を対象とした。

3. 調査の種類と回答施設

部門別調査は、「一般原価調査」と「特殊原価調査」の二種類の調査で構成される。「一般原価調査」とは、病院における診療科別の収支を算定するための調査であり、診療科別収支を算定する全ての病院について実施する。また「特殊原価調査」とは、病院の中央診療部門（手術・検査・画像診断）における費用を各診療科に割り振るための係数（等価係数）を作成するための調査である。それぞれの調査施設数は以下のとおりである。

(1) 調査施設数

① 一般原価調査

①調査対象施設	②集計対象施設	集計対象施設の割合 (②/①)
190病院	127病院	66.8%

② 特殊原価調査

①調査対象施設	②集計対象施設	集計対象施設の割合 ②/①
15病院	14病院	93%

(2) 開設者・病床規模等

集計対象施設の開設者（国立公立・医療法人・その他*）別、DPC対象・準備別、病床規模別の施設数は以下のとおりである。

* 「その他」とは、公的（日赤、済生会、厚生連など）、社会保険関連法人（全国社会保険協会連合会、健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会など）、その他（公益法人、社会福祉法人、医療生協など）である。

① 一般原価調査

開設者	DPC対象・準備	病床規模			計
		20～199床	200～499床	500床以上	
国立公立	DPC対象	0 (0%)	12 (9%)	9 (7%)	21 (17%)
	DPC準備	1 (1%)	8 (6%)	4 (3%)	13 (10%)
	合計	1 (1%)	20 (16%)	13 (10%)	34 (27%)
医療法人	DPC対象	15 (12%)	22 (17%)	1 (1%)	38 (30%)
	DPC準備	9 (7%)	3 (2%)	1 (1%)	13 (10%)
	合計	24 (19%)	25 (20%)	2 (2%)	51 (40%)
その他	DPC対象	4 (3%)	21 (17%)	7 (6%)	32 (25%)
	DPC準備	3 (2%)	5 (4%)	2 (2%)	10 (8%)
	合計	7 (6%)	26 (20%)	9 (7%)	42 (33%)
総計	DPC対象	19 (15%)	55 (43%)	17 (13%)	91 (72%)
	DPC準備	13 (10%)	16 (13%)	7 (6%)	36 (28%)
	合計	32 (25%)	71 (56%)	24 (19%)	127 (100%)

2

② 特殊原価調査

開設者	DPC対象・準備	病床規模			計
		20～199床	200～499床	500床以上	
国立公立	DPC対象	0 (0%)	2 (14%)	3 (21%)	5 (36%)
	DPC準備	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
	合計	0 (0%)	2 (14%)	3 (21%)	5 (36%)
医療法人	DPC対象	1 (7%)	1 (7%)	0 (0%)	2 (14%)
	DPC準備	0 (0%)	1 (7%)	0 (0%)	1 (7%)
	合計	1 (7%)	2 (14%)	0 (0%)	3 (21%)
その他	DPC対象	0 (0%)	2 (14%)	0 (0%)	2 (14%)
	DPC準備	2 (14%)	0 (0%)	2 (14%)	4 (29%)
	合計	2 (14%)	2 (14%)	2 (14%)	6 (43%)
総計	DPC対象	1 (7%)	5 (36%)	3 (21%)	9 (64%)
	DPC準備	2 (14%)	1 (7%)	2 (14%)	5 (36%)
	合計	3 (21%)	6 (43%)	5 (36%)	14 (100%)

4. 調査対象期間

(1) 一般原価調査

平成20年10月

(2) 特殊原価調査

平成20年4月～平成20年10月のうち10月分（必須）と、遡ってデータ提出可能な期間

3

II 調査内容

1. 診療科部門別収支の計算方法

部門別調査は、病院全体の収益・費用の金額を、最終的に入院部門、外来部門の各診療科単位に割り振り、診療科別収支（入院・外来ごとの診療科別収支）を把握するものである。

病院の診療科や部署（病棟、外来診療室、手術室、医事課等）を「入院部門」「外来部門」「中央診療部門」「補助・管理部門」の4部門に分け、そのうち「補助・管理部門」「中央診療部門」の収益・費用を段階的に「入院部門」「外来部門」の各診療科に配分する「階梯式配賦」という手法を用いて、診療科別収支を算定した。

2. 計算単位

部門別調査では、全病院共通のレセプト電算処理システム用診療科（以下「レセプト診療科」という）単位で収支を計算した。また、レセプト診療科での集計と同時に、類似するレセプト診療科をまとめた再集計用の「診療科群」を設け、「診療科群」単位でも集計を行った。

(1) レセプト診療科

レセプト診療科は以下のとおりである。

レセプト診療科											
01	内科	07	胃腸科	13	美容外科	19	皮膚科	25	婦人科	31	麻酔科
02	精神科	08	循環器科	14	脳神経外科	20	泌尿器科	26	眼科	32	(欠)
03	神経科	09	小児科	15	呼吸器外科	21	性病科	27	耳鼻いんこう科	33	心療内科
04	神経内科	10	外科	16	心臓血管外科	22	こう門科	28	気管食道科	34	アレルギー科
05	呼吸器科	11	整形外科	17	小児外科	23	産婦人科	29	(欠)	35	リウマチ科
06	消化器科	12	形成外科	18	皮膚泌尿器科	24	産科	30	放射線科	36	リハビリテーション科

4

(2) 診療科群

再集計用の「診療科群」として以下の11の診療科群を設定した。各診療科群にどのレセプト診療科を含めるかについては、調査票で以下の設定を例示し、それに基づき各病院が自院のレセプト診療科の診療内容等により判断して再設定する方法をとった。

診療科群	診療科群に含まれると想定されるレセプト診療科(初期設定)
1 内科群	内科・神経内科・呼吸器科・消化器科・胃腸科・循環器科・心療内科・アレルギー科・リウマチ科
2 小児科群	小児科
3 精神科群	精神科・神経科
4 外科群	外科・形成外科・美容外科・脳神経外科・呼吸器外科・心臓血管外科・小児外科・皮膚泌尿器科・泌尿器科・こう門科
5 整形外科群	整形外科・リハビリテーション科
6 産婦人科群	産婦人科・産科・婦人科
7 眼科群	眼科
8 耳鼻いんこう科群	耳鼻いんこう科・気管食道科
9 皮膚科群	皮膚科・性病科
10 麻酔科群	麻酔科
11 放射線科群	放射線科

5

3. 科目

病院会計準則に則った損益計算書様式で1ヵ月分の損益の記載を求め、科目毎に定めた基準により収益・費用を各診療科に計上した。各科目に含まれる内容は以下のとおりである。

区分・科目	集計内容
医業収益	入院診療収益、室料差額収益、外来診療収益、保健予防活動収益、受託検査・施設利用収益、その他の医業収益、保険等査定減
医業費用	
材料費	医薬品費、診療材料費、医療消耗器具備品費、給食用材料費
給与費	給料、賞与、賞与引当金繰入額、退職給付費用、法定福利費
委託費	検査委託費、給食委託費、寝具委託費、医事委託費、清掃委託費、保守委託費、その他の委託費
設備関係費	減価償却費、器機賃借料、地代家賃、修繕費、固定資産税等、器機保守料、器機設備保険料、車両関係費
その他の医業費用	研究研修費、経費、控除対象外消費税等負担額、本部費配賦額
医業外収益	受取利息及び配当金、有価証券売却益、運営費補助金収益、施設設備補助金収益、患者外給食収益、その他の医業外収益
医業外費用	支払利息、有価証券売却損、患者外給食用材料費、診療費減免額、医業外貸倒損失、貸倒引当金医業外繰入額、その他の医業外費用

4. 調査種類と内容

調査種類	調査内容
一般原価調査	レセ電算ファイル・Eファイル・Dファイル（DファイルはDPC対象病院のみ）等の収集、病院毎の部門設定、病院全体の収益・費用を各診療科に割り振るための基礎数値（病院全体の収支、患者数、職員・勤務状況等）調査
特殊原価調査	手術・検査・画像診断部門の各診療行為別の資源投入量（給与費等）調査

III 計算結果（概要）

1. 基礎数値

(1) 一般原価調査対象施設数等

① 病床規模別

	20～199床	200～499床	500床以上	全病院
病院数	32	71	24	127
平均病床数	136	334	638	342
平均延べ入院患者数	2,803	7,854	15,524	8,031
平均延べ外来患者数	6,234	12,454	24,973	13,252
平均常勤換算医師数	31	59	173	73
平均レセプト診療科数	7	12	16	12

② 開設者別

	国立公立	医療法人	その他	全病院
病院数	34	51	42	127
平均病床数	453	241	373	342
平均延べ入院患者数	11,029	5,576	8,585	8,031
平均延べ外来患者数	17,730	8,833	14,995	13,252
平均常勤換算医師数	121	47	67	73
平均レセプト診療科数	14	9	12	12

2. 留意事項

(1) 表示区分

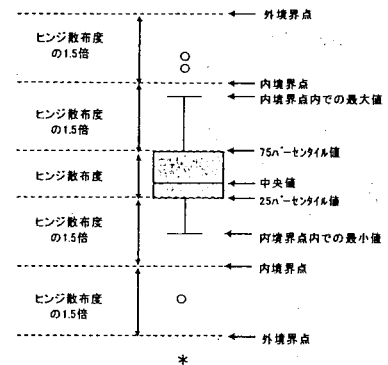
- 集計対象病院の医業収益・医業費用等の平均値を、以下の区分で表示した。
 - ・主要なレセプト診療科別（入院外来合計の病院数が50以上の診療科のみを表示）
 - ・レセプト診療科別（入院外来合計の病院数が10以上の診療科のみを表示）
 - ・診療科群別

(2) 外れ値の除外

平均値の集計にあたっては、以下の基準のいずれかに該当する病院を除外した。

- ① 医業収益が極端に小さい病院
診療科毎、入院・外来毎の医業収益が50万円以下の病院
- ② 収支差額比率が他の病院と比べて極端に大きい（または小さい）病院
診療科毎、入院・外来毎の収支差額比率の分布を表す箱ひげ図¹（右図）において、その値が内境界点を超える病院
- ③ 延べ入院・外来患者数が当該病院の収益規模と比べて極端に多い（または少ない）病院
診療科毎、入院・外来毎に算定した「患者一人一日あたり収益」の分布を表す箱ひげ図¹において、その値が内境界点を超える病院

箱ひげ図（説明）



¹ 箱ひげ図とは、データ解析で用いられる図的表示方法のひとつである。箱ひげ図の箱の下端がデータの第1四分位（25パーセンタイル値）、上端がデータの第3四分位（75パーセンタイル値）、箱の中の線が中央値（50パーセンタイル値）を示す。箱の上端、下端から箱の長さの1.5倍を足した値が内境界点であり、通常それを超える値を外れ値とする。

3. 収支計算結果

(1) 主要なレセプト診療科別収支の状況

① 主要なレセプト診療科別収支の状況（入院）

入院部門	内科		看護科		小児科		外科		整形外科		脳神経外科		皮膚科		泌尿器科		産婦人科		眼科		耳鼻いんご科		放射線科	
	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)
医業収益	105,440,597	100%	71,301,065	100%	29,828,826	100%	86,989,442	100%	82,968,855	100%	42,247,043	100%	4,413,193	100%	25,945,119	100%	37,802,356	100%	11,580,163	100%	12,576,403	100%	7,843,882	100%
医業費用	103,127,227	98%	73,086,553	103%	25,888,081	87%	59,013,850	87%	60,926,230	97%	38,592,815	91%	4,376,585	99%	23,483,865	91%	32,331,454	86%	6,252,217	54%	10,829,847	88%	7,251,834	95%
収支差額	2,313,371	2%	-1,785,488	-3%	3,840,745	13%	8,975,492	13%	2,042,626	3%	3,654,228	9%	36,828	1%	2,461,253	9%	5,271,904	14%	5,327,946	46%	1,746,756	14%	391,827	5%
病院数	108		61		60		102		107		88		48		87		57		70		85		13	

② 主要なレセプト診療科別収支の状況（外来）

外来部門	内科		看護科		小児科		外科		整形外科		脳神経外科		皮膚科		泌尿器科		産婦人科		眼科		耳鼻いんご科		放射線科	
	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)
医業収益	60,408,845	100%	15,788,173	100%	11,810,883	100%	20,933,400	100%	13,466,312	100%	8,523,215	100%	4,828,254	100%	25,807,008	100%	10,400,807	100%	9,805,224	100%	5,783,818	100%	5,648,035	100%
医業費用	60,736,776	101%	18,831,521	120%	17,478,083	148%	23,877,080	114%	19,409,814	144%	10,738,744	113%	8,408,188	174%	25,845,832	101%	13,282,727	128%	10,908,825	110%	8,712,983	128%	7,272,782	129%
収支差額	-327,931	-1%	-3,043,347	-20%	-5,668,200	-48%	-2,943,680	-14%	-5,943,502	-44%	-1,215,528	-13%	-3,579,935	-74%	-238,827	-1%	-2,861,920	-28%	-1,001,701	-10%	-1,828,147	-28%	-1,824,747	-29%
病院数	110		85		74		100		105		86		72		90		58		79		79		74	

③ 主要なレセプト診療科別収支の状況（入院・外来計）

入院・外来部門	内科		看護科		小児科		外科		整形外科		脳神経外科		皮膚科		泌尿器科		産婦人科		眼科		耳鼻いんご科		放射線科	
	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)
医業収益	156,330,493	100%	77,907,191	100%	35,516,445	100%	78,983,478	100%	72,782,413	100%	47,755,119	100%	7,560,372	100%	46,545,548	100%	44,300,616	100%	18,524,699	100%	16,305,875	100%	6,890,840	100%
医業費用	154,495,889	99%	82,446,781	108%	38,036,483	107%	73,498,718	93%	76,403,009	105%	45,470,523	95%	11,019,793	146%	44,583,880	96%	42,131,146	95%	15,108,186	82%	16,774,110	103%	8,546,753	122%
収支差額	1,834,604	1%	-4,539,600	-6%	-2,520,048	-7%	5,484,762	7%	-3,620,597	-5%	2,284,596	5%	-3,459,421	-46%	1,961,668	4%	2,169,470	5%	3,416,533	18%	-488,235	-3%	-1,555,912	-22%
病院数	114		89		75		113		112		95		74		88		62		86		83		74	

(2) 診療科群別収支の状況

① 診療科群別収支の状況(入院)

入院部門	内科群		小児科群		精神科群		外科群		整形外科群		産婦人科群		眼科群		耳鼻いんこう科群		皮膚科群		麻酔科群		放射線科群	
	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)
医薬収益	91,430,668	100%	28,828,826	100%	30,241,397	100%	44,229,493	100%	60,747,240	100%	34,982,683	100%	11,580,163	100%	12,576,403	100%	4,413,193	100%	6,651,386	100%	7,643,652	100%
医薬費用	89,714,002	98%	25,988,081	87%	36,750,858	122%	39,520,212	88%	58,852,291	97%	30,379,412	87%	6,252,217	54%	10,829,647	86%	4,376,565	99%	7,083,794	107%	7,251,834	95%
収支差額	1,716,666	2%	3,840,745	13%	-6,509,461	-22%	4,709,282	11%	1,894,950	3%	4,603,272	13%	5,327,946	46%	1,746,756	14%	36,628	1%	-432,398	-7%	391,827	5%
病院数	120		60		13		119		106		70		70		65		48		15		13	

② 診療科群別収支の状況(外来)

外来部門	内科群		小児科群		精神科群		外科群		整形外科群		産婦人科群		眼科群		耳鼻いんこう科群		皮膚科群		麻酔科群		放射線科群	
	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)
医薬収益	42,816,756	100%	11,810,863	100%	8,244,342	100%	16,688,640	100%	11,944,815	100%	10,041,423	100%	9,905,224	100%	6,783,816	100%	4,828,254	100%	2,203,267	100%	5,648,035	100%
医薬費用	43,922,857	103%	17,479,083	148%	9,477,696	115%	18,488,713	111%	17,660,363	148%	12,509,716	125%	10,906,825	110%	8,712,963	128%	6,408,188	174%	3,265,324	148%	7,272,782	129%
収支差額	-1,106,101	-3%	-5,668,220	-48%	-1,233,354	-15%	-1,800,073	-11%	-5,715,548	-48%	-2,468,293	-25%	-1,001,701	-10%	-1,929,147	-29%	-3,579,935	-74%	-1,062,057	-48%	-1,624,747	-29%
病院数	123		74		36		120		105		72		79		79		72		15		74	

③ 診療科群別収支の状況(入院・外来計)

入院・外来部門	内科群		小児科群		精神科群		外科群		整形外科群		産婦人科群		眼科群		耳鼻いんこう科群		皮膚科群		麻酔科群		放射線科群	
	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)
医薬収益	132,017,408	100%	35,516,445	100%	19,644,847	100%	58,127,573	100%	69,310,027	100%	40,663,722	100%	18,524,699	100%	16,305,875	100%	7,560,372	100%	5,774,773	100%	6,990,840	100%
医薬費用	131,448,713	100%	38,036,493	107%	22,748,839	119%	55,372,406	95%	72,907,035	105%	38,811,005	95%	15,108,166	82%	16,774,110	103%	11,019,793	146%	6,749,418	117%	8,546,753	122%
収支差額	568,695	0%	-2,520,048	-7%	-3,583,992	-19%	2,755,166	5%	-3,597,008	-5%	1,852,717	5%	3,416,533	18%	-468,235	-3%	-3,459,421	-46%	-974,645	-17%	-1,555,912	-22%
病院数	123		75		36		125		111		78		86		85		74		23		74	

(3) 開設者別収支の状況(全診療科合計)

	入院						外来						入院外来計											
	国立公立		医療法人		その他		国立公立		医療法人		その他		国立公立		医療法人		その他							
	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)						
医薬収益	543,967,946	100%	286,148,870	100%	410,188,828	100%	399,427,425	100%	224,921,884	100%	104,735,717	100%	183,307,106	100%	162,903,758	100%	768,889,631	100%	370,904,388	100%	587,325,932	100%	552,331,184	100%
医薬費用	517,972,247	95%	242,574,824	81%	383,835,495	93%	383,019,436	93%	264,841,185	118%	117,182,824	112%	210,886,340	119%	187,586,304	113%	762,613,432	102%	359,787,748	97%	594,521,835	100%	550,605,740	100%
収支差額	27,000,000	5%	43,574,046	15%	27,353,333	7%	27,408,000	7%	59,080,700	26%	-12,447,107	-12%	-27,579,234	-15%	-24,682,546	-15%	-13,723,802	-2%	113,101,883	30%	176,804,097	47%	196,725,444	36%
病院数	34		51		42		127		34		51		42		127		34		51		42		127	
平均入院日数(患者)	11,029		5,579		8,585		8,031		17,750		8,823		14,959		13,252		17,730		8,823		14,959		13,252	

(4) 病床規模別収支の状況(全診療科合計)

	入院					外来					入院外来計					
	199床以下		200床~499床		500床以上	199床以下		200床~499床		500床以上	199床以下		200床~499床		500床以上	
	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)
医薬収益	138,042,044	100%	366,818,162	100%	790,133,870	100%	388,427,425	100%	740,971,200	100%	151,014,889	100%	316,563,741	100%	182,903,738	100%
医薬費用	128,371,100	93%	340,436,308	93%	742,892,200	94%	363,011,438	93%	835,452,973	113%	177,840,732	118%	355,141,395	112%	197,986,308	113%
収支差額	9,670,944	7%	26,381,854	7%	47,241,670	6%	42,415,987	11%	65,528,207	17%	73,174,097	48%	119,422,346	67%	84,917,430	46%
病院数	32		71		24		127		32		71		24		127	
平均入院日数(患者)	2,803		7,854		15,524		8,031		6,234		12,454		24,973		13,252	

(5) DPC 対象・準備病院別収支の状況 (全診療科合計)

	入院						外来						入院外来計					
	DPC対象		DPC準備		合計		DPC対象		DPC準備		合計		DPC対象		DPC準備		合計	
	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)
医療収益	428,333,848	100%	291,081,145	100%	389,427,425	100%	170,478,185	100%	142,797,230	100%	182,903,758	100%	398,811,832	100%	434,838,435	100%	552,331,184	100%
医療費用	395,118,531	92%	281,880,056	97%	363,019,438	93%	198,227,270	115%	185,743,861	115%	187,588,304	115%	591,345,801	98%	447,822,817	103%	550,805,740	100%
材料費	107,308,481	25%	78,342,846	27%	99,287,829	25%	55,880,728	33%	46,428,225	32%	53,201,282	33%	183,189,211	27%	125,371,081	29%	152,468,111	28%
診察費	208,934,095	49%	147,918,228	51%	191,838,259	49%	89,431,854	52%	80,313,058	56%	88,847,070	53%	298,368,049	50%	228,231,288	52%	278,485,329	50%
医託費	17,841,133	4%	13,252,411	5%	16,540,393	4%	19,718,842	12%	15,042,458	10%	18,393,253	11%	37,559,975	8%	28,294,889	7%	34,933,845	8%
検査調剤費	37,358,942	9%	28,088,089	9%	34,184,049	9%	21,132,300	12%	18,382,967	11%	19,786,033	12%	58,491,242	10%	42,471,035	10%	53,950,081	10%
その他医療費用	23,875,880	6%	15,878,502	5%	21,408,907	5%	10,963,445	6%	7,577,145	5%	9,358,887	5%	33,739,325	8%	23,255,847	5%	30,767,574	6%
収支差額	33,215,315	8%	9,201,089	3%	26,407,987	7%	-23,749,085	-13%	-21,968,572	-13%	-24,682,546	-15%	7,466,031	1%	-12,785,482	-3%	1,725,444	0%
医療外収益	15,260,958	4%	12,424,844	4%	14,458,983	4%	2,570,527	2%	2,877,616	2%	2,600,883	2%	17,831,484	3%	15,102,260	3%	17,057,848	3%
医療外費用	10,525,304	2%	10,810,588	4%	10,549,473	3%	1,841,488	1%	2,178,448	2%	1,793,116	1%	12,168,772	2%	12,787,016	3%	12,342,589	2%
繰越支差額	37,950,769	9%	11,018,165	4%	30,215,480	8%	-24,820,028	-13%	-21,485,404	-13%	-23,874,779	-15%	13,130,743	2%	-10,470,238	-2%	6,440,701	1%
病院数	91		38		127		91		38		127		91		38		127	
平均入院症・患者数	8,543		8,735		8,031								8,543		8,735		8,031	
平均外来症・患者数							13,562		12,471		13,252		13,562		12,471		13,252	

IV 計算結果 (集計)

1. レセプト診療科と診療科群の対応

(n=127)

レセプト診療科	(n数)	病院が選択した診療科群とその割合	レセプト診療科	(n数)	病院が選択した診療科群とその割合
01 内科	120	内科群100%	19 皮膚科	83	皮膚科群100%
02 精神科	41	精神科群100%	20 泌尿器科	102	外科群92%、内科群8%
03 神経科	5	精神科群60%、内科群40%	21 性病科	0	-
04 神経内科	54	内科群100%	22 こう門科	5	外科群100%
05 呼吸器科	46	内科群98%、外科群2%	23 産婦人科	65	産婦人科群100%
06 消化器科	56	内科群93%、外科群7%	24 産科	5	産婦人科群100%
07 胃腸科	3	内科群100%	25 婦人科	20	産婦人科群100%
08 循環器科	74	内科群100%	26 眼科	93	眼科群99%、外科群1%
09 小児科	81	小児科群100%	27 耳鼻いんこう科	87	耳鼻いんこう科群100%
10 外科	116	外科群100%	28 気管食道科	0	-
11 整形外科	116	整形外科群99%、外科群1%	29 (欠)		-
12 形成外科	50	外科群92%、整形外科群8%	30 放射線科	86	放射線科群100%
13 美容外科	0	-	31 麻酔科	64	麻酔科群97%、外科群2%、内科群1%
14 脳神経外科	96	外科群95%、内科群5%	32 (欠)		-
15 呼吸器外科	22	外科群100%	33 心療内科	8	内科群75%、精神科群25%
16 心臓血管外科	44	外科群98%、内科群2%	34 アレルギー科	2	内科群100%
17 小児外科	9	外科群100%	35 リウマチ科	11	内科群100%
18 皮膚泌尿器科	1	皮膚科群100%	36 リハビリテーション科	42	整形外科群93%、内科群7%

(注)「レセプト診療科」と「診療科群」の対応づけは、病院の判断により実施した。

(3) 小児科

Table for Pediatrics (小児科) showing financial data by hospital type (Independent, Private, Other) and department (Inpatient, Outpatient, Total). Includes columns for amount and percentage change.

(4) 外科

Table for Surgery (外科) showing financial data by hospital type (Independent, Private, Other) and department (Inpatient, Outpatient, Total). Includes columns for amount and percentage change.

(5) 整形外科

Table for Plastic Surgery (整形外科) showing financial data by hospital type (Independent, Private, Other) and department (Inpatient, Outpatient, Total). Includes columns for amount and percentage change.

(6) 脳神経外科

Table for Neurological Surgery (脳神経外科) showing financial data by hospital type (Independent, Private, Other) and department (Inpatient, Outpatient, Total). Includes columns for amount and percentage change.

(11) 耳鼻いんこう科

耳鼻いんこう科	入院						外来						入院外来計					
	DPC対象		DPC基準		合計		DPC対象		DPC基準		合計		DPC対象		DPC基準		合計	
	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)
医療収益	12,832,315	100%	11,853,281	100%	12,578,403	100%	6,582,434	100%	7,274,135	100%	8,763,818	100%	18,975,467	100%	14,752,422	100%	16,308,875	100%
医療費用	11,005,090	86%	10,334,278	87%	10,829,847	88%	8,780,382	133%	8,597,507	118%	8,712,863	128%	17,585,861	103%	14,837,018	101%	16,774,110	103%
材料費	1,554,901	12%	2,028,977	17%	1,879,152	13%	1,207,119	18%	1,311,526	18%	1,237,516	18%	2,452,309	14%	2,586,988	18%	2,482,875	15%
給与費	6,989,955	54%	6,097,833	51%	6,756,630	54%	4,527,440	69%	4,677,943	64%	4,571,257	67%	10,156,111	60%	8,450,234	57%	9,842,293	59%
委託費	585,958	5%	598,521	5%	589,244	5%	1,224,454	19%	1,081,818	15%	1,177,704	17%	1,567,163	10%	1,383,867	9%	1,581,833	10%
設備関係費	1,197,498	9%	988,732	8%	1,142,896	9%	1,224,243	19%	1,017,948	14%	1,184,182	17%	2,173,059	12%	1,608,850	11%	2,003,117	12%
その他医療費用	876,779	7%	819,215	7%	861,724	7%	577,128	9%	528,273	7%	562,903	8%	1,117,318	7%	907,877	6%	1,053,992	6%
収支差額	1,827,425	14%	1,518,982	13%	1,748,556	14%	-2,177,948	-33%	-1,323,372	-18%	-1,929,147	-28%	-590,484	-3%	-184,594	-1%	-468,235	-3%
医療外収益	483,274	4%	522,218	4%	493,460	4%	183,680	3%	189,541	3%	185,387	3%	577,298	3%	528,486	4%	562,898	3%
医療外費用	288,772	2%	444,585	4%	404,109	3%	108,294	2%	150,995	2%	120,726	2%	427,131	3%	441,233	3%	431,378	3%
総収支差額	1,920,927	15%	1,596,615	13%	1,836,107	15%	-2,102,582	-32%	-1,284,825	-18%	-1,864,487	-27%	-440,327	-3%	-96,341	-1%	-336,717	-2%
病院数	46		17		65		56		23		79		58		25		83	
平均入院延べ患者数	278		277		278		904		927		911		278		277		278	
平均外来延べ患者数																		

(12) 放射線科

放射線科	入院						外来						入院外来計					
	DPC対象		DPC基準		合計		DPC対象		DPC基準		合計		DPC対象		DPC基準		合計	
	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)	金額(円)	構成比(%)
医療収益	8,227,878	100%	5,896,938	100%	7,843,862	100%	5,826,107	100%	5,721,557	100%	5,848,035	100%	7,089,560	100%	6,726,300	100%	6,990,840	100%
医療費用	7,773,325	94%	5,513,532	97%	7,251,834	95%	7,504,775	133%	6,484,922	114%	7,272,782	128%	8,868,516	125%	7,487,898	111%	8,546,753	122%
材料費	1,411,363	17%	1,224,525	21%	1,388,248	18%	1,489,999	26%	1,336,344	23%	1,438,294	25%	1,717,806	24%	1,552,436	23%	1,879,862	24%
給与費	4,028,948	49%	3,081,680	54%	3,811,112	50%	3,503,925	62%	3,181,038	58%	3,429,748	61%	4,210,833	60%	3,724,860	55%	4,099,268	59%
委託費	458,105	6%	185,393	3%	395,171	5%	687,095	12%	503,519	9%	644,922	11%	767,484	11%	536,235	8%	714,344	10%
設備関係費	1,243,452	15%	561,345	10%	1,086,943	14%	1,289,145	23%	1,020,779	18%	1,227,453	22%	1,507,295	21%	1,119,839	17%	1,418,285	20%
その他医療費用	630,458	8%	480,610	8%	591,262	8%	554,812	10%	453,243	8%	531,324	9%	865,218	9%	534,527	8%	635,195	9%
収支差額	454,553	6%	183,406	3%	391,827	5%	-1,878,668	-33%	-773,364	-14%	-1,824,747	-28%	-1,798,957	-25%	-740,999	-11%	-1,555,912	-22%
医療外収益	667,802	8%	83,110	1%	532,873	7%	473,564	8%	421,472	7%	461,597	8%	590,722	8%	436,139	6%	555,210	8%
医療外費用	288,245	3%	116,867	2%	233,312	3%	142,381	3%	282,128	5%	176,767	3%	189,422	3%	312,752	5%	217,754	3%
総収支差額	853,911	10%	149,649	3%	691,389	9%	-1,547,465	-28%	-644,021	-11%	-1,339,917	-24%	-1,397,457	-20%	-617,612	-9%	-1,218,457	-17%
病院数	10		3		13		57		17		74		57		17		74	
平均入院延べ患者数	166		151		162		345		263		326		166		151		162	
平均外来延べ患者数																		

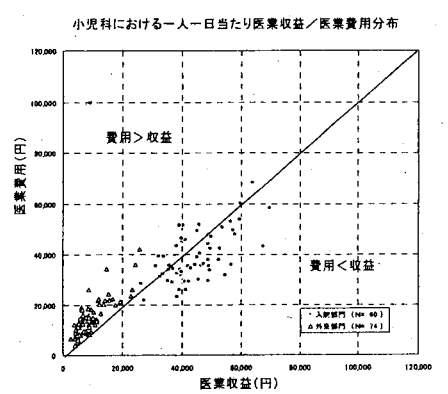
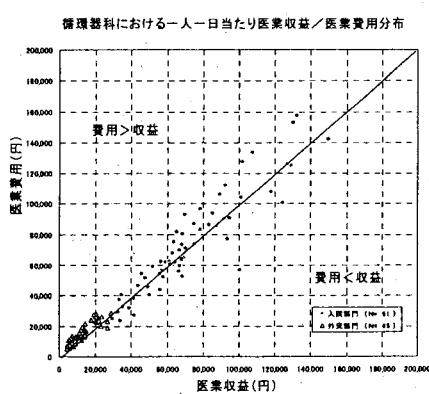
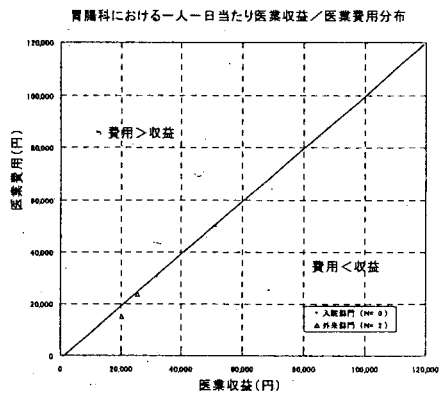
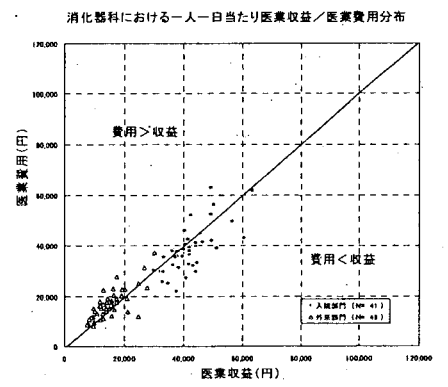
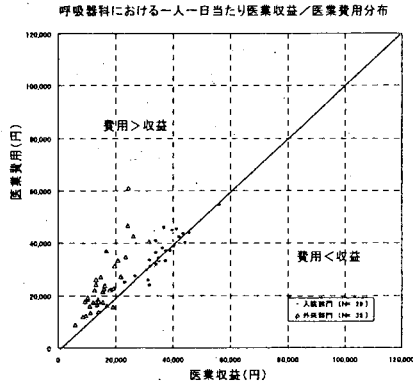
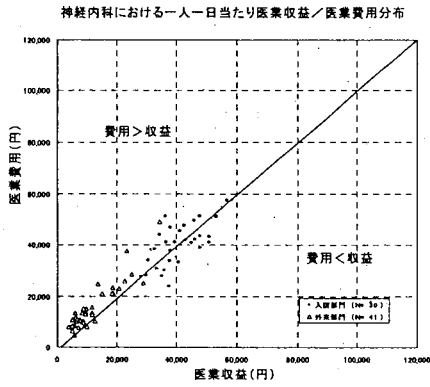
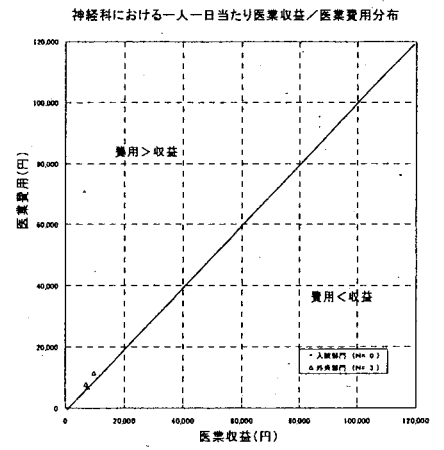
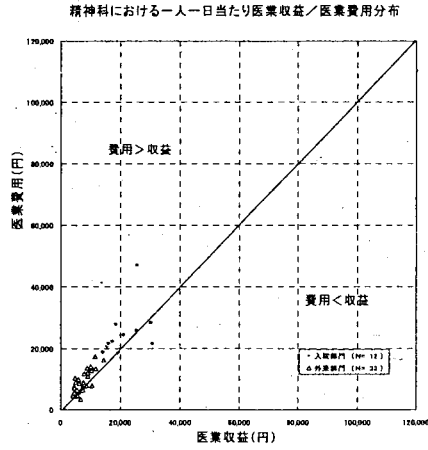
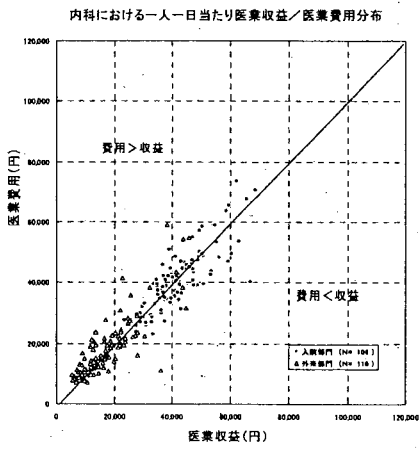
6. (再掲) 透析部門・健診部門収支

透析部門	金額(円)	構成比(%)	健診部門	金額(円)	構成比(%)
医療収益	25,006,591	100%	医療収益	37,493,754	100%
医療費用	18,170,863	73%	医療費用	21,953,689	59%
材料費	4,227,338	17%	材料費	0	0%
給与費	10,074,049	40%	給与費	14,909,801	40%
委託費	295,873	1%	委託費	641,686	2%
設備関係費	2,201,326	9%	設備関係費	4,107,177	11%
その他医療費用	1,372,276	5%	その他医療費用	2,295,026	6%
収支差額	6,835,728	27%	収支差額	15,540,065	41%
医療外収益	322,763	1%	医療外収益	315,385	1%
医療外費用	298,294	1%	医療外費用	99,790	0%
総収支差額	6,860,197	27%	総収支差額	15,755,659	42%
病院数	12		病院数	9	
平均入院延べ患者数	270		平均入院延べ患者数	162	
平均外来延べ患者数	750		平均外来延べ患者数	1,445	

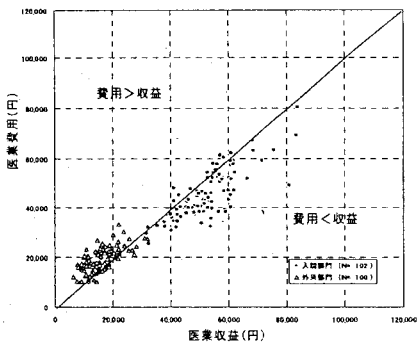
(注) レセプト診療科と同様の方法で透析部門・健診部門の収支を算定した。なお、この計算結果は両部門の収支算定のためのデータが正確に調査できた病院のみについて集計したものである。

V 計算結果 (図解)

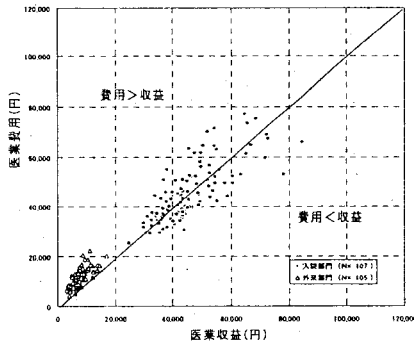
1. 患者一人一日当たり医業収益・医業費用分布 (レセプト診療科)



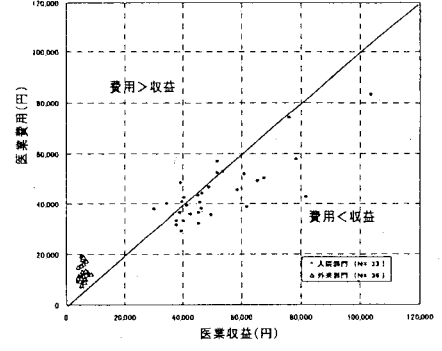
外科における一人一日当たり医療収益／医療費用分布



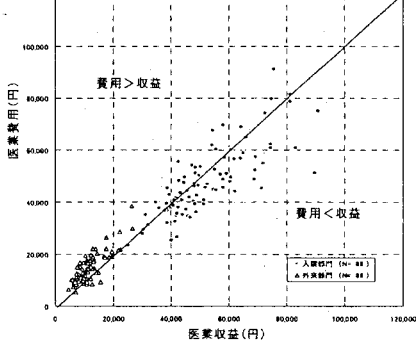
整形外科における一人一日当たり医療収益／医療費用分布



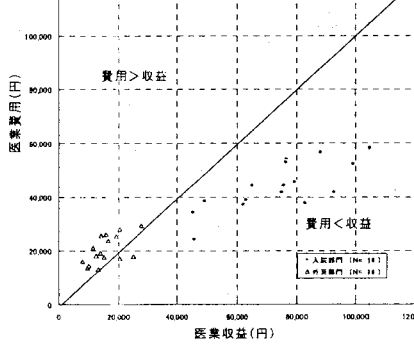
形成外科における一人一日当たり医療収益／医療費用分布



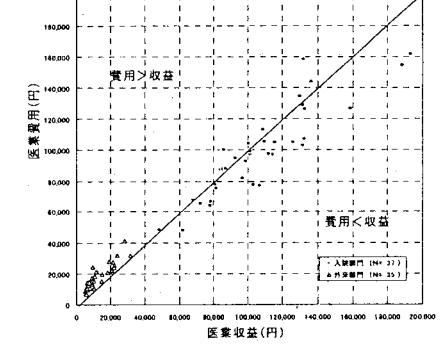
脳神経外科における一人一日当たり医療収益／医療費用分布



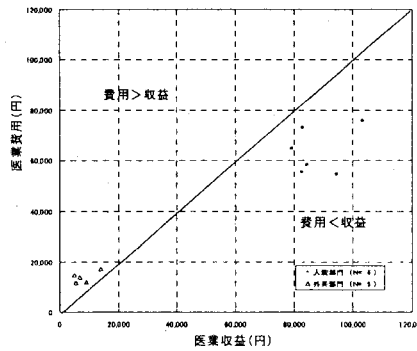
呼吸器外科における一人一日当たり医療収益／医療費用分布



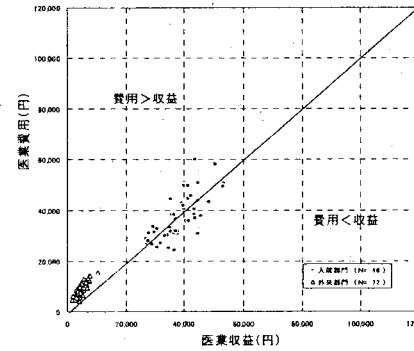
心臓血管外科における一人一日当たり医療収益／医療費用分布



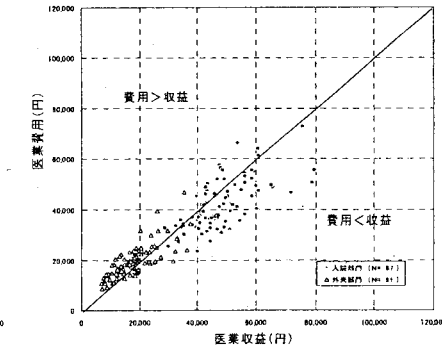
小児外科における一人一日当たり医療収益／医療費用分布



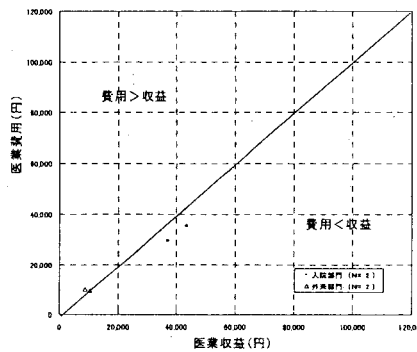
皮膚科における一人一日当たり医療収益／医療費用分布



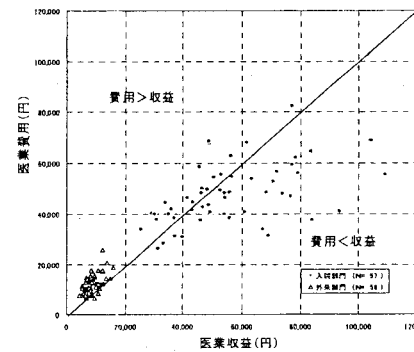
泌尿器科における一人一日当たり医療収益／医療費用分布



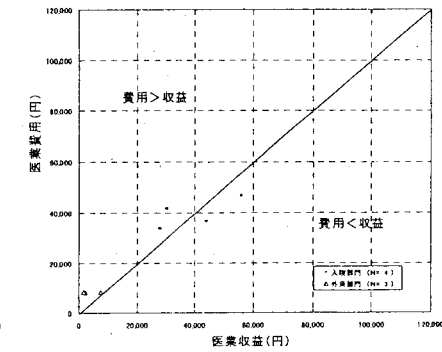
こゝろ科における一人一日当たり医療収益／医療費用分布



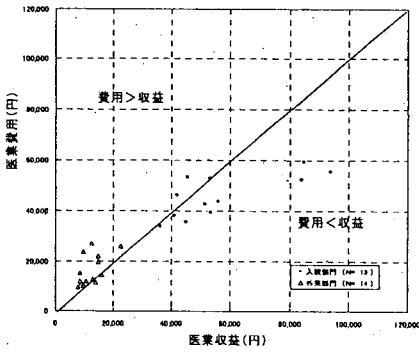
産婦人科における一人一日当たり医療収益／医療費用分布



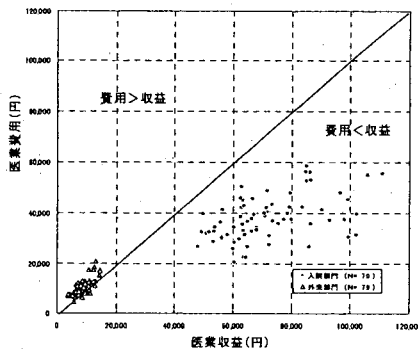
産科における一人一日当たり医療収益／医療費用分布



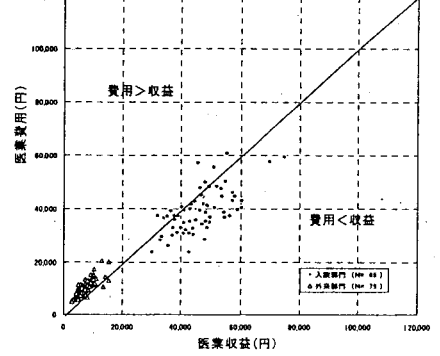
婦人科における一人一日当たり医療収益／医療費用分布



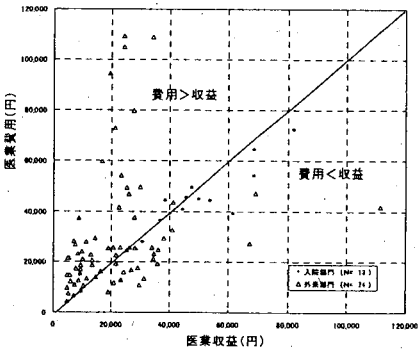
眼科における一人一日当たり医療収益／医療費用分布



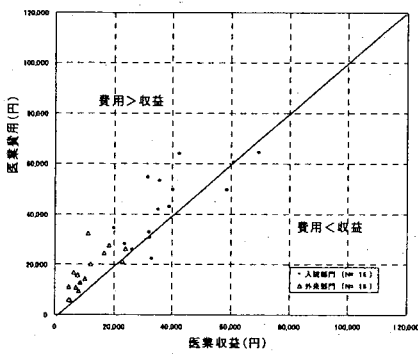
耳鼻いんこう科における一人一日当たり医療収益／医療費用分布



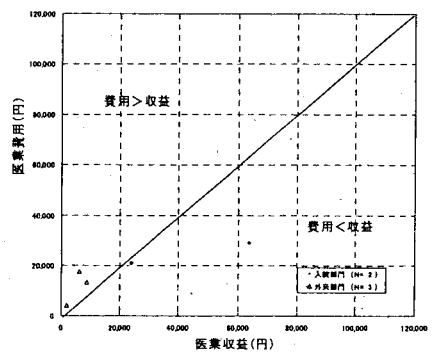
放射線科における一人一日当たり医療収益／医療費用分布



麻酔科における一人一日当たり医療収益／医療費用分布

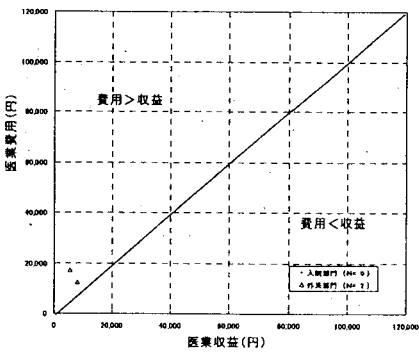


心臓内科における一人一日当たり医療収益／医療費用分布

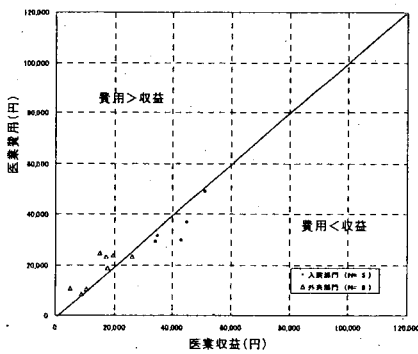


36

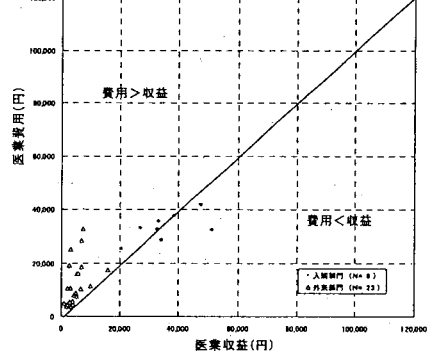
アレルギー科における一人一日当たり医療収益／医療費用分布



リウマチ科における一人一日当たり医療収益／医療費用分布

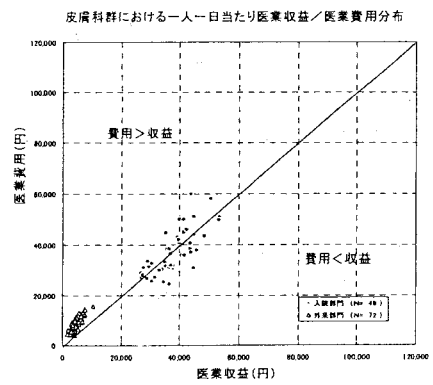
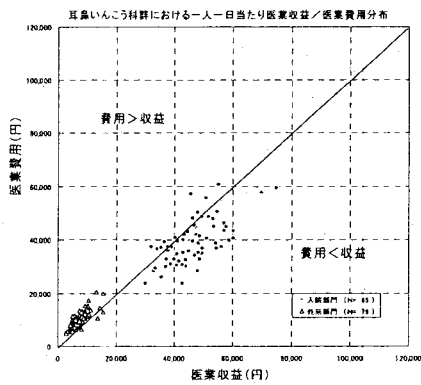
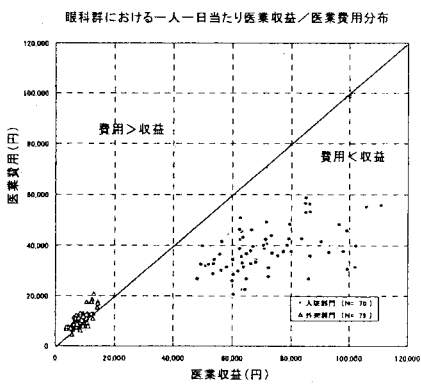
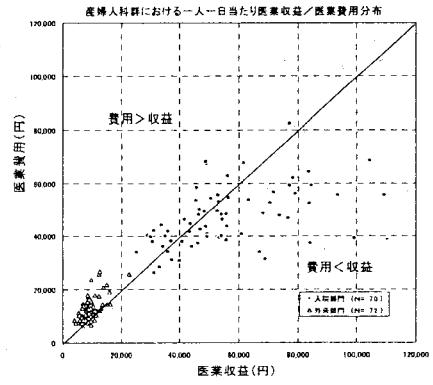
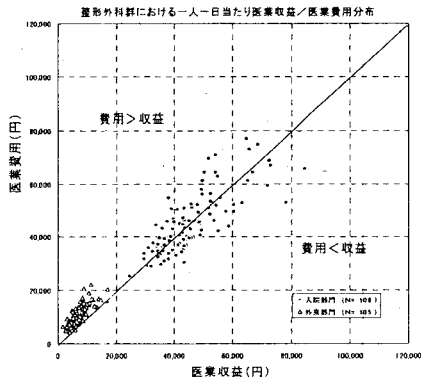
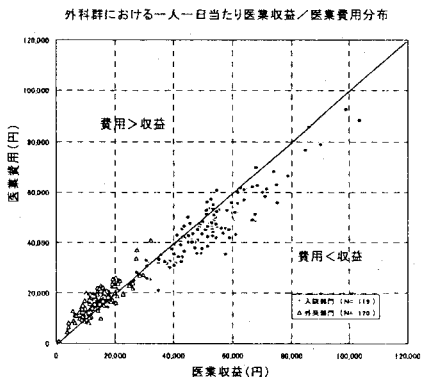
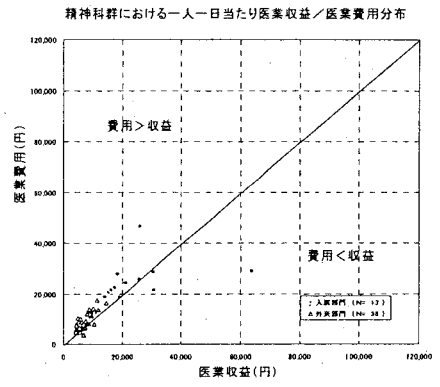
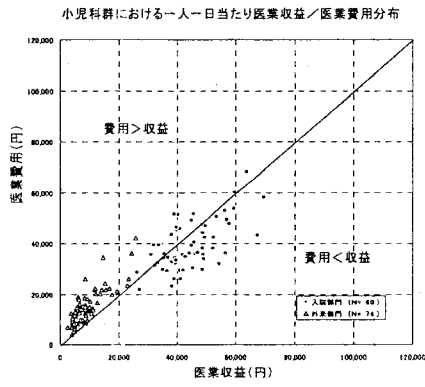
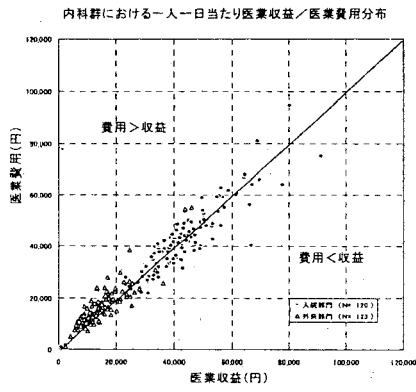


リハビリテーション科における一人一日当たり医療収益／医療費用分布

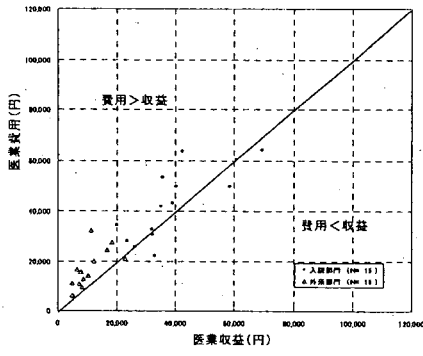


37

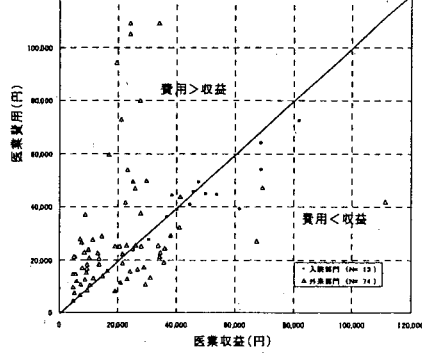
2. 患者一人一日当たり医業収益・医業費用分布（診療科群）



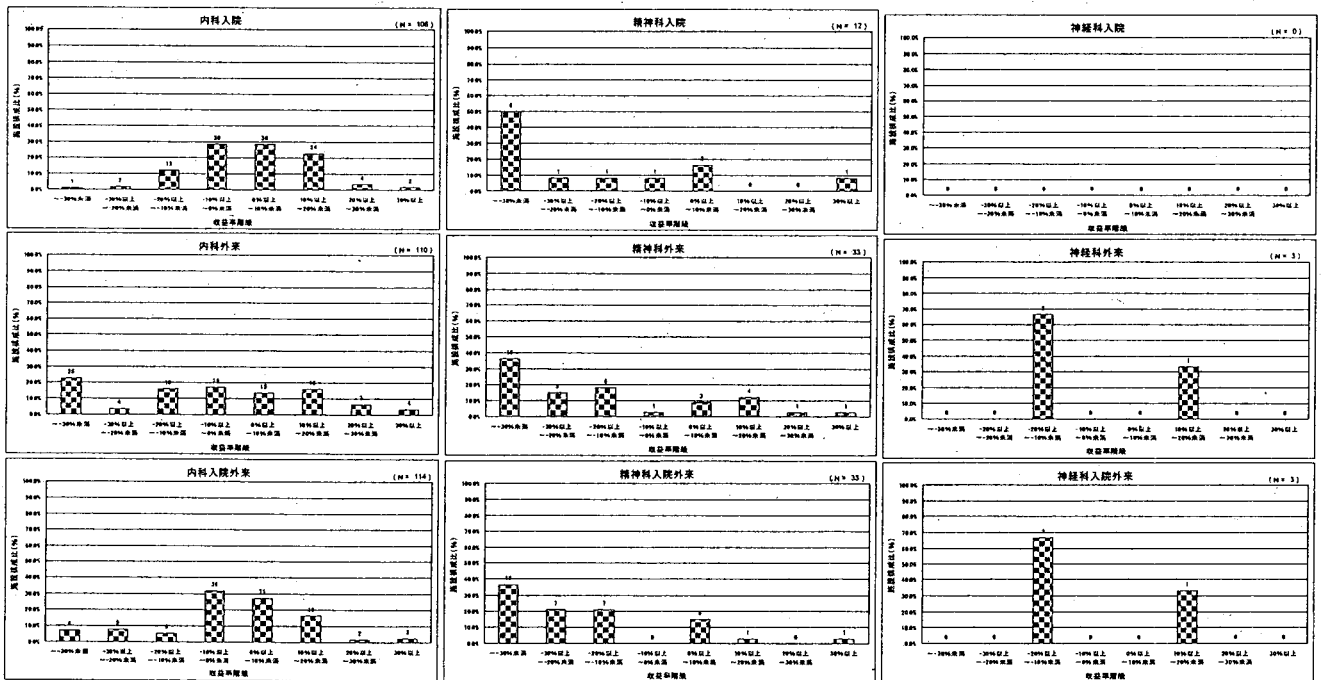
麻酔科群における一人一日当たり医療収益／医療費用分布

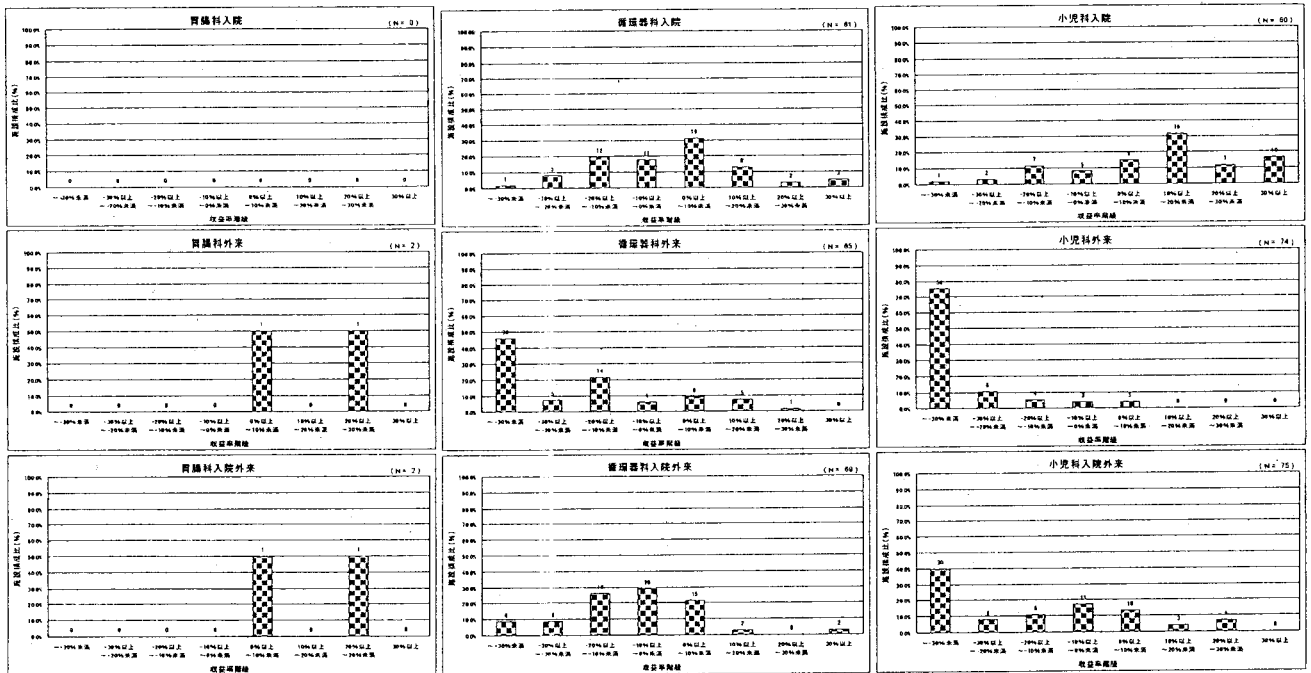
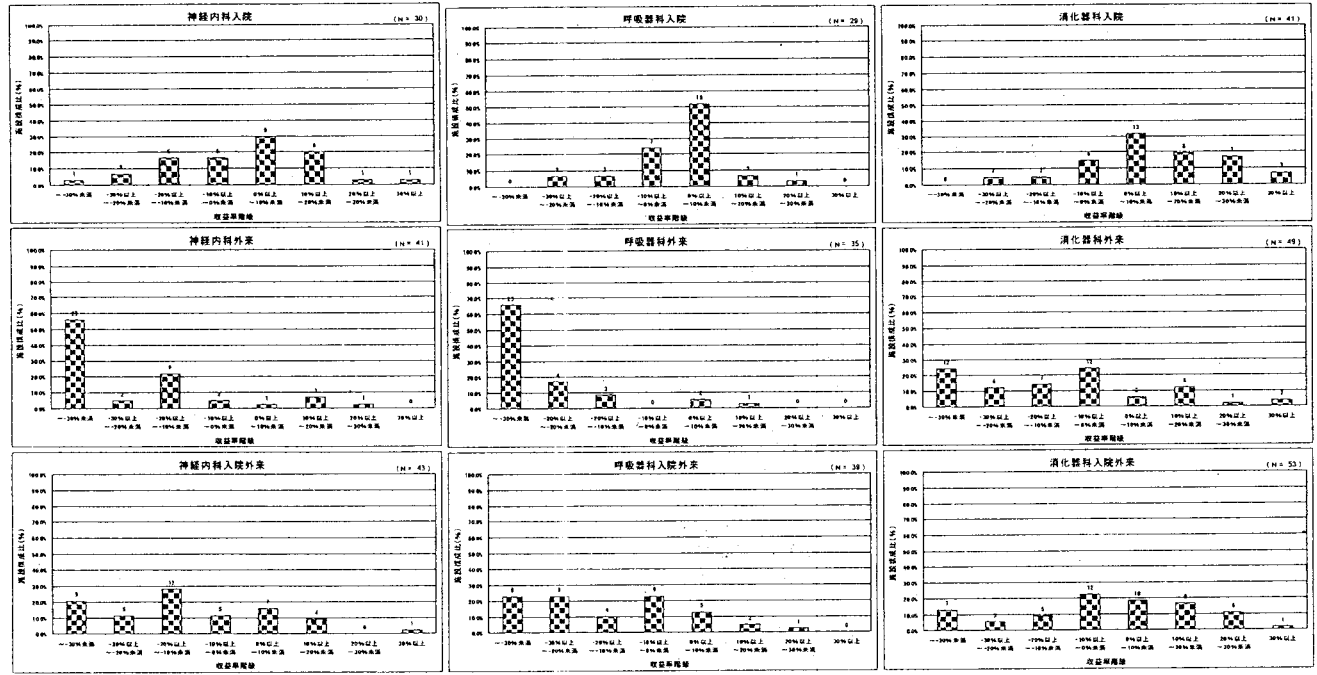


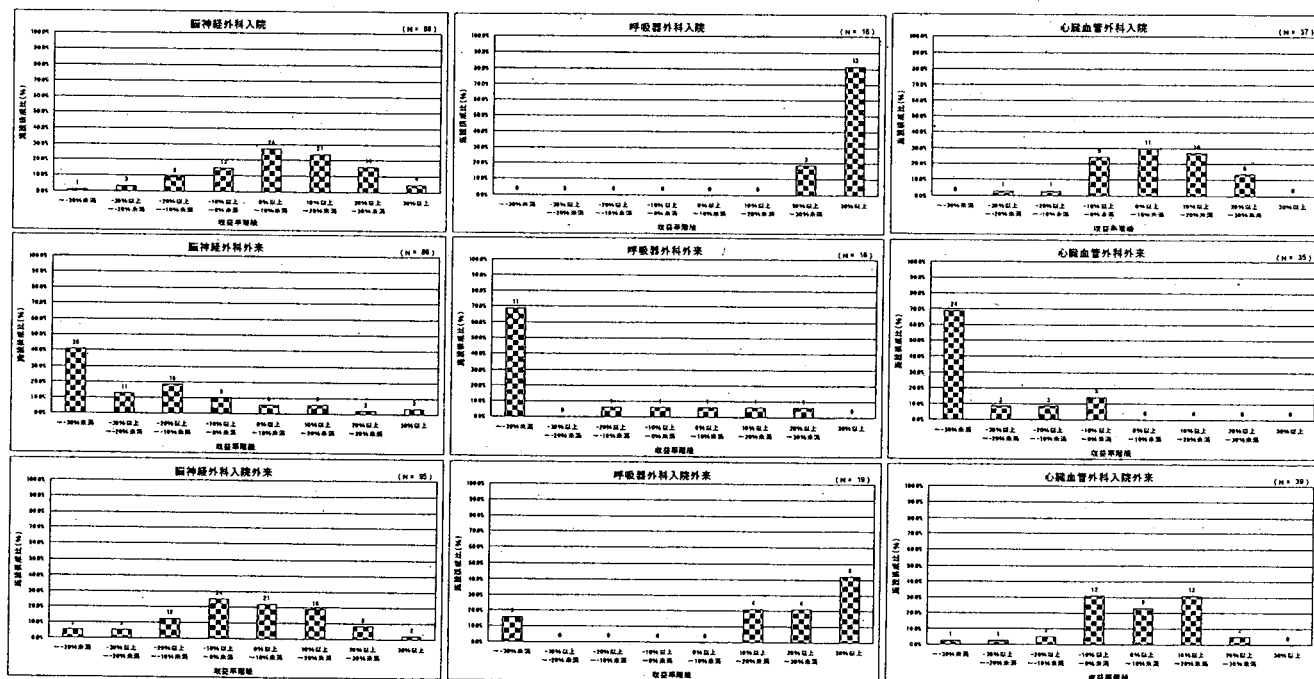
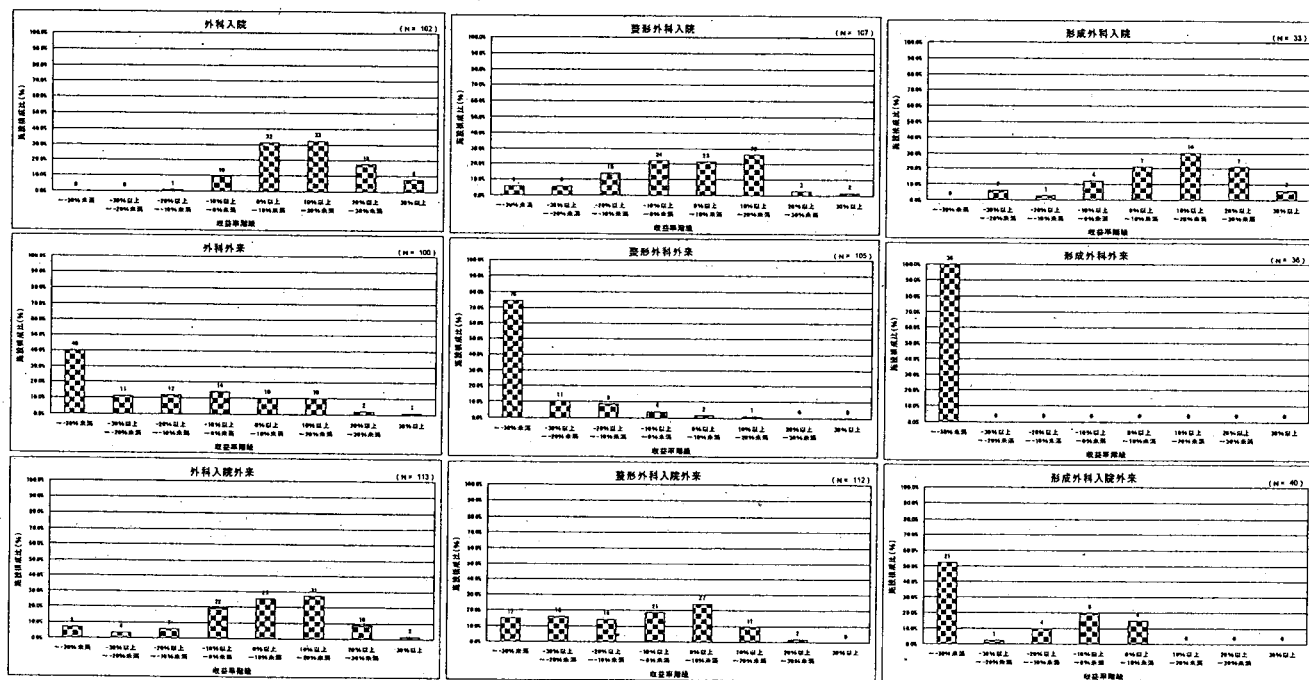
放射線科群における一人一日当たり医療収益／医療費用分布

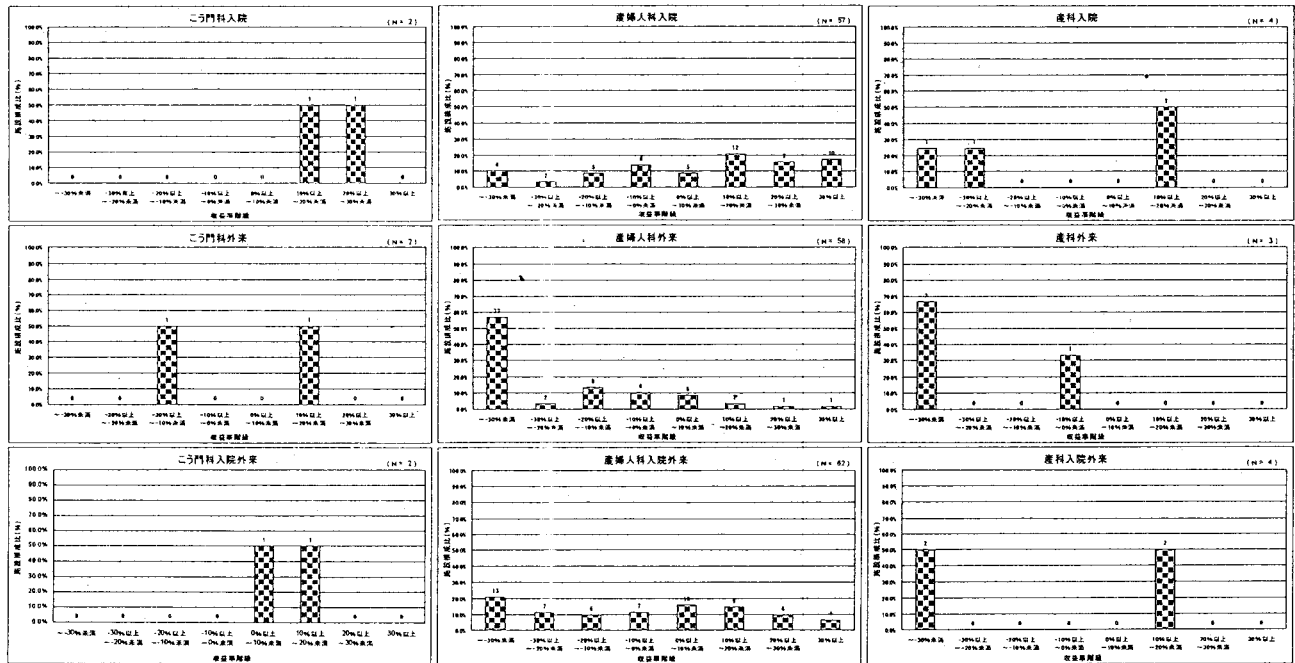
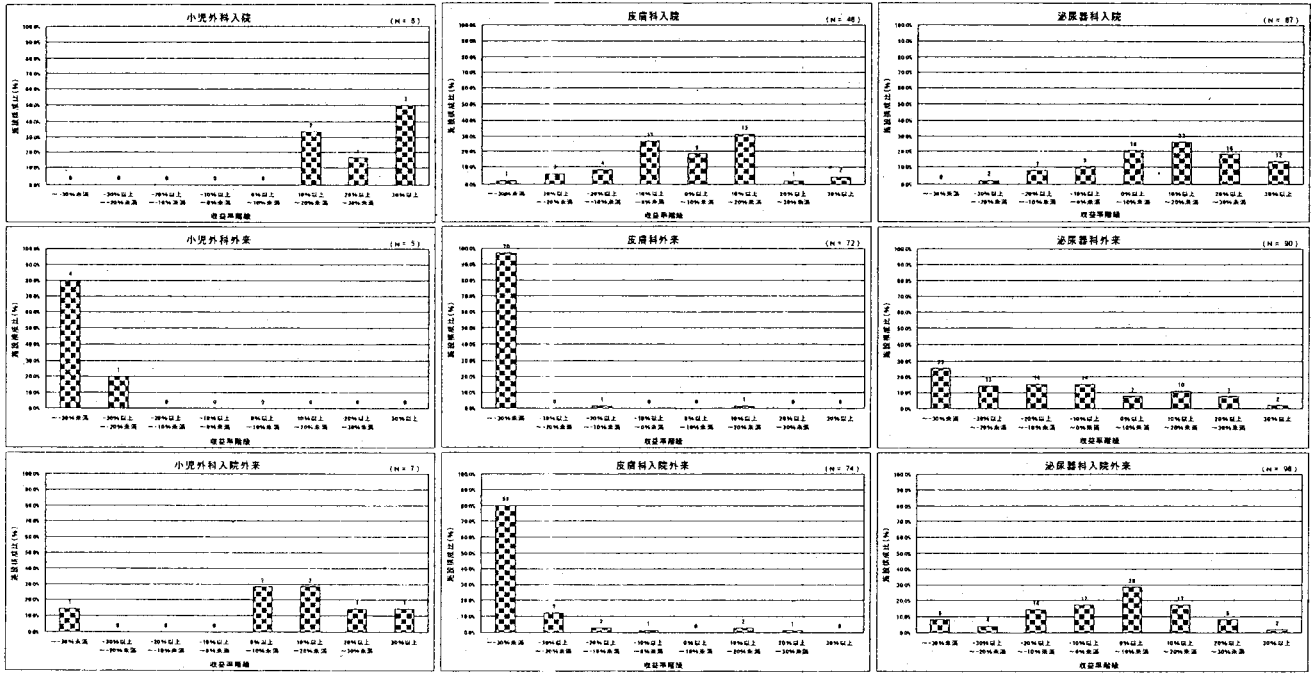


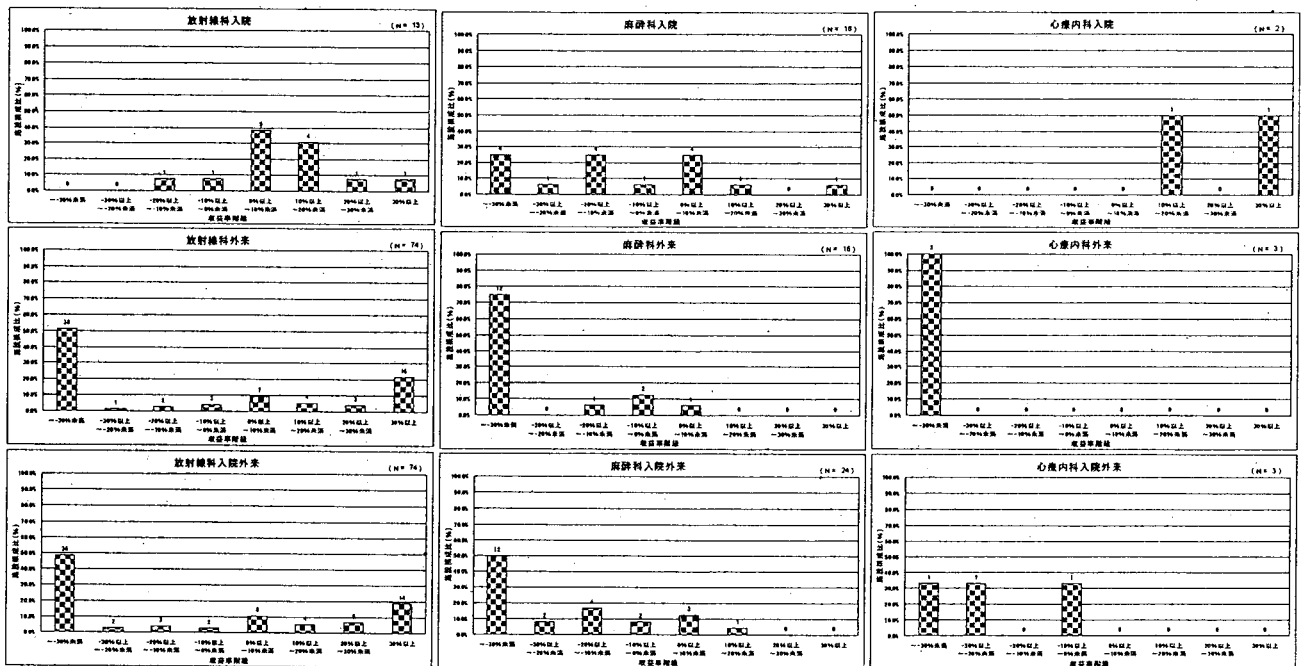
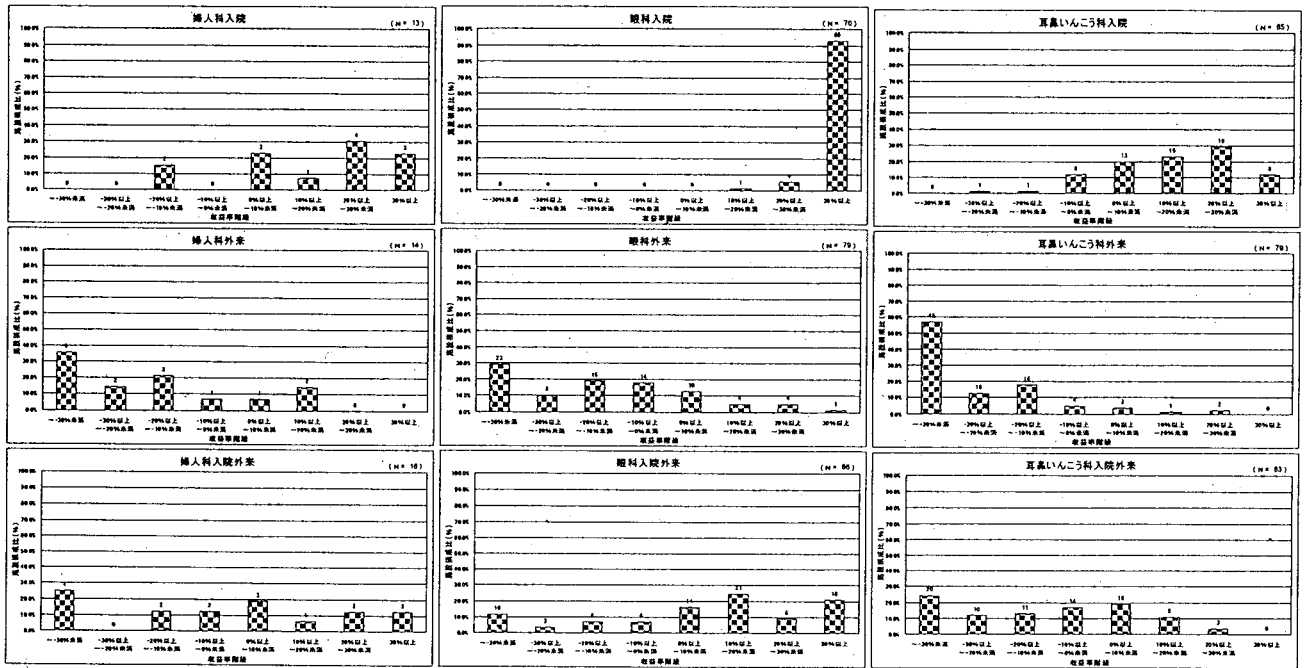
3. 収支率の分布 (レセプト診療科)

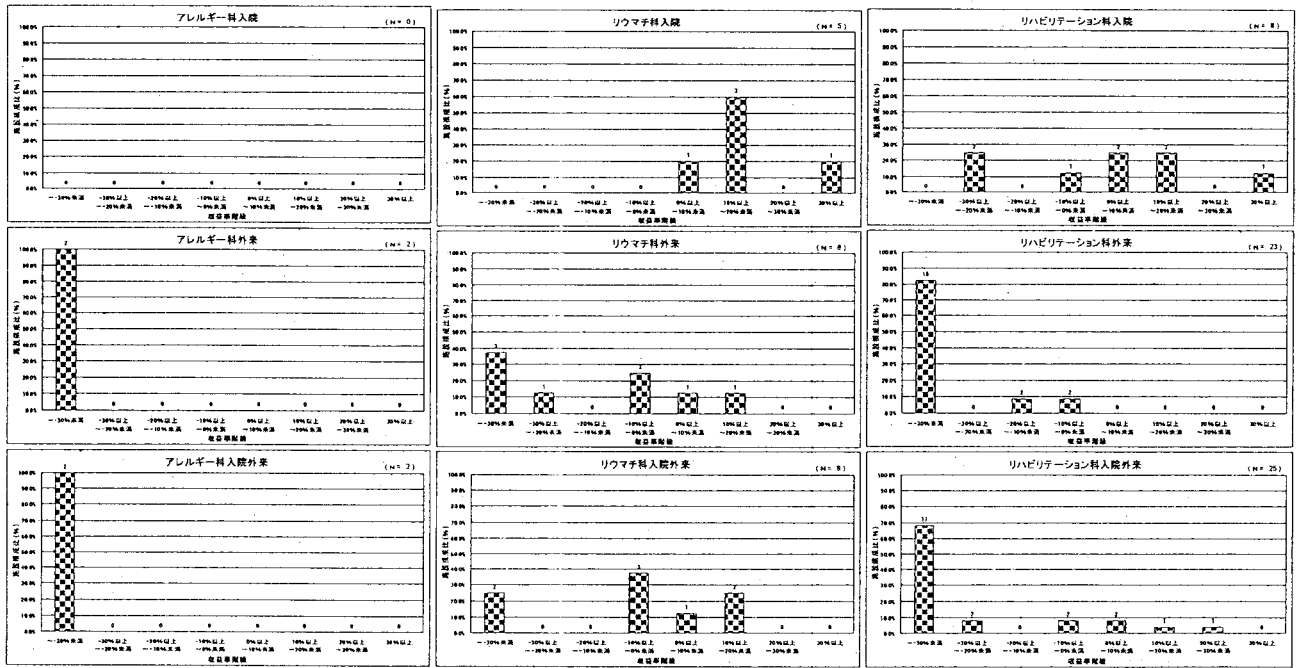




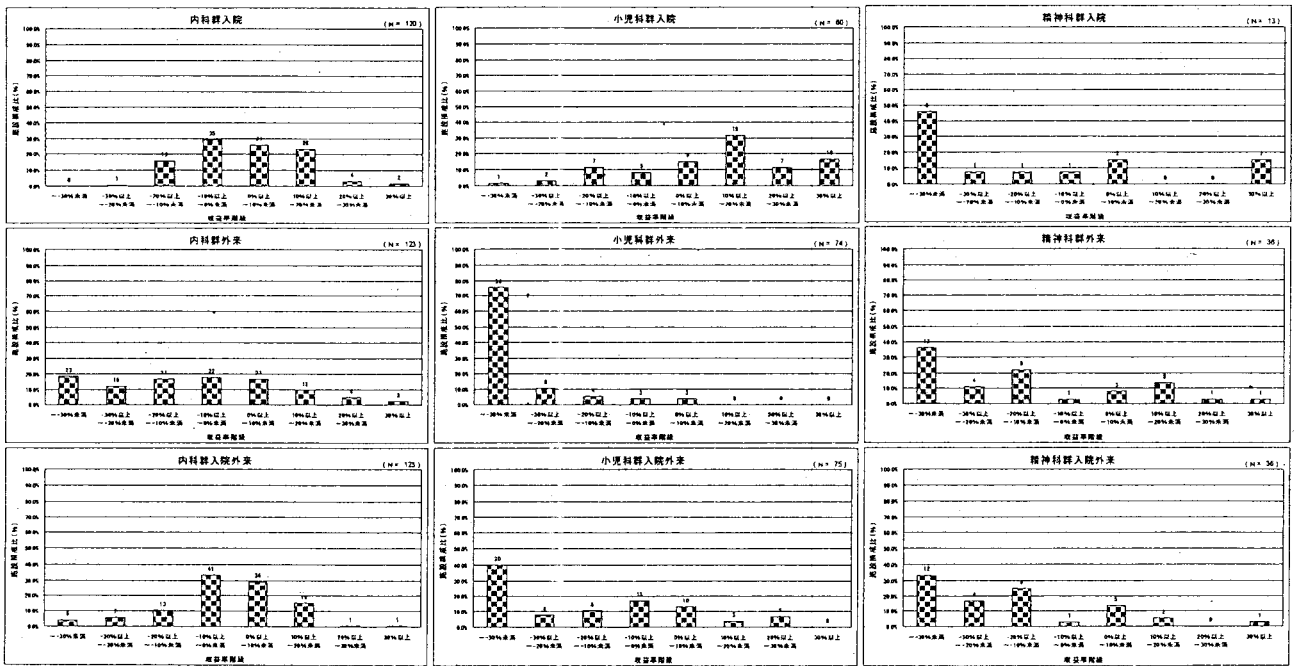


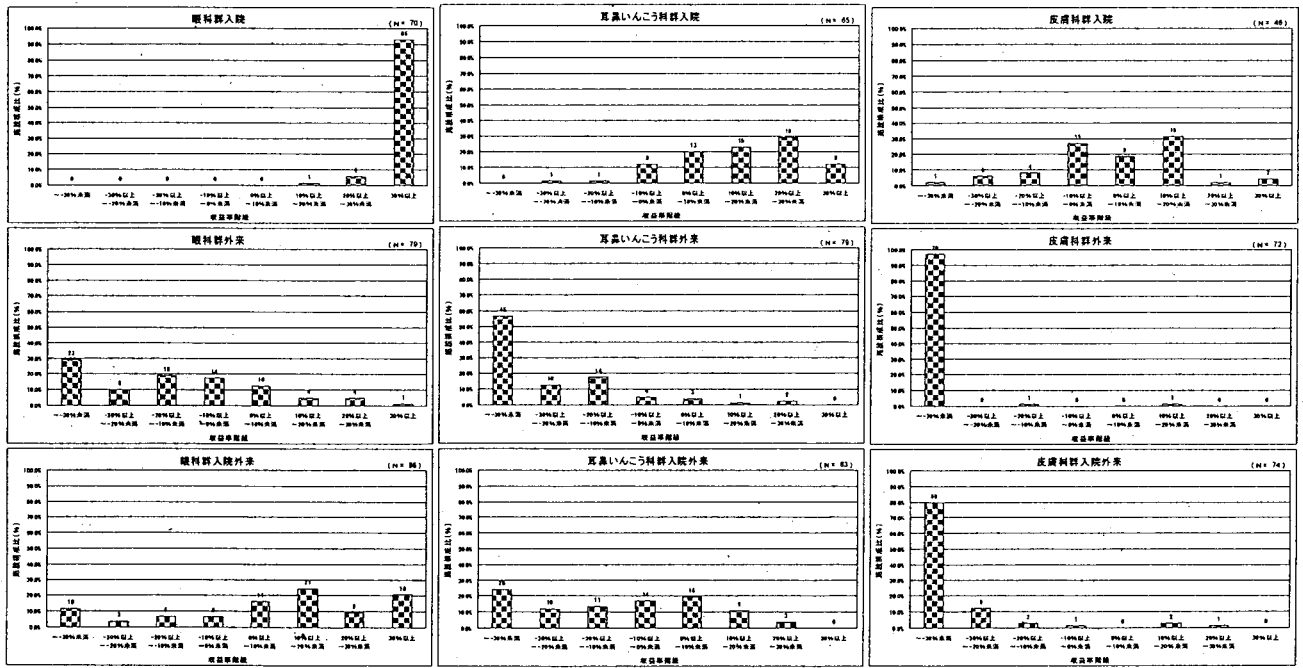
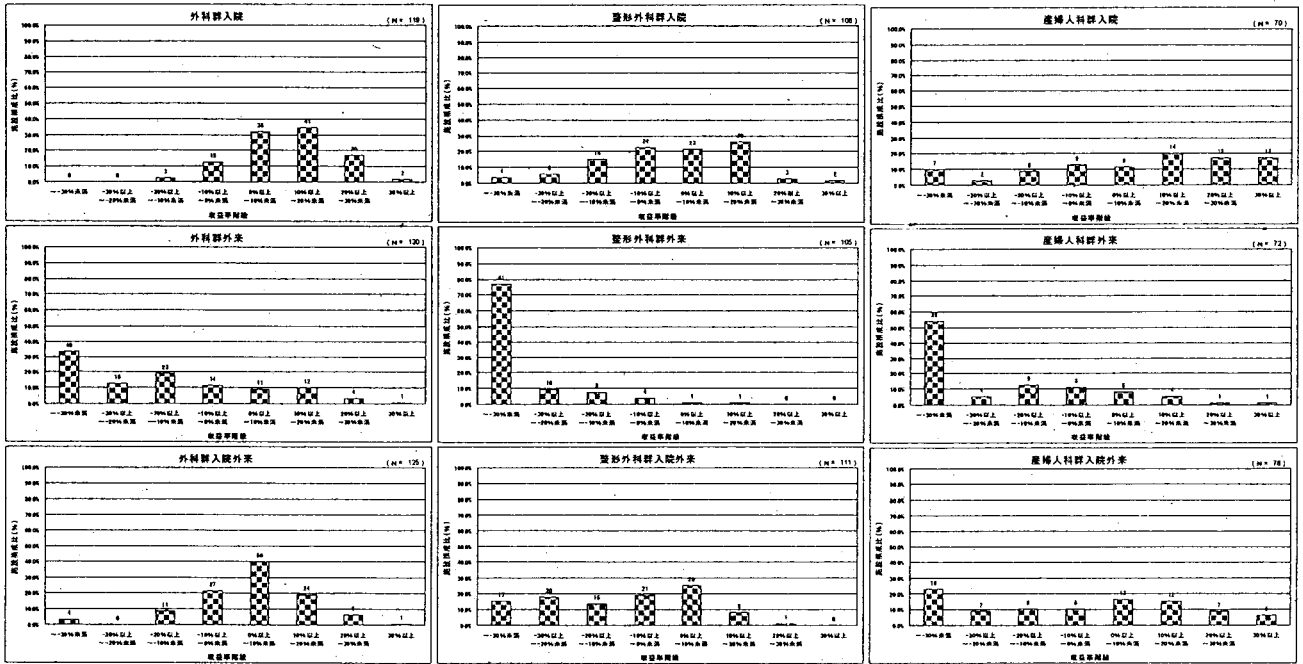






4. 収支率の分布 (診療科群)





(3) 画像診断

Eコード	画像診断名称	画像診断給与費			(参考)平均投入量		
		件数	等価係数 (平均値 の比)	参考値 (中央値 の比)	医師数 (人)	看護師数 (人)	医療技術 員数 (人)
E000	透視診断	14	1.29	1.93	0.6	0.4	0.5
E001	写真診断	14	0.80	1.18	1.1	0.0	0.2
E002	撮影	14	0.46	0.37	0.1	0.1	1.1
E003	造影剤注入手法	14	3.94	1.44	0.8	0.8	0.7
E004	基本的エックス線診断料	1	0.31	0.80	1.0	0.0	0.0
E100	シンチグラム	12	1.47	2.05	0.6	0.4	1.1
E101-2	ポジトロン断層撮影	4	3.04	6.66	0.8	0.8	0.8
E101-3	ポジトロン断層-コンピューター断層複合撮影	5	4.61	8.73	0.8	1.0	1.0
E101	シングルホトンエミッションコンピューター断層撮影	12	2.72	4.26	0.7	0.5	1.1
E102	核医学診断	12	0.87	0.88	0.8	0.0	0.2
E200	コンピューター断層撮影	14	1.00	1.00	0.5	0.6	1.1
E202	磁気共鳴コンピューター断層撮影	14	1.33	1.64	0.3	0.4	1.1
E203	コンピューター断層診断	13	1.49	1.71	1.3	0.0	0.2

※等価係数は、E200 コンピューター断層撮影を基準 (1.00) として相対化した値である。

当該画像診断の給与費平均

$$\text{当該画像診断の等価係数} = \frac{\text{当該画像診断の給与費平均}}{\text{E200 の給与費平均}}$$

※本年度調査で発生したサービスのうち、給与費等価係数の存在する割合は以下のとおりである。

手術	等価係数	サービス種類		実施件数		総点数 (実施件数×点数)	
		存在する	存在しない	構成比	構成比	構成比	構成比
手術	存在する	438	27.5%	55,496	90.4%	747,974,547	91.8%
	存在しない	731	62.5%	5,918	9.6%	68,645,671	8.4%
検査	存在する	161	77.4%	6,076,160	99.8%	779,225,478	99.7%
	存在しない	47	22.6%	13,253	0.2%	2,395,953	0.3%
画像診断	存在する	13	76.5%	847,296	100.0%	491,695,390	100.0%
	存在しない	4	23.5%	4	0.0%	8,240	0.0%
合計	存在する	612	43.9%	6,978,952	99.7%	2,018,895,415	96.6%
	存在しない	782	56.1%	19,175	0.3%	71,049,864	3.4%

2. (参考) 材料費等価係数

(1) 手術

Kコード	手術名称	手術材料費	
		件数	等価係数 (平均値の比)
K000	創傷処理	41	0.50
K001	皮膚切開術	5	0.11
K002	デブリードマン	22	0.53
K003	皮膚、皮下、粘膜下血管腫瘍摘出術(露出部)	6	0.04
K005	皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部)	46	0.05
K006	皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部以外)	42	0.06
K007	皮膚悪性腫瘍切除術	29	0.13
K010	瘻管摘除術	8	0.09
K011	顔面神経麻痺形成手術	3	0.04
K013	分厚種皮膚	2	1.57
K013-2	分厚種皮膚	10	0.11
K015	皮弁作成術、移動術、切断術、遊離皮弁術	11	0.09
K016	動脈(皮)弁術、筋(皮)弁術	1	0.10
K022	組織移植による再建手術	1	2.32
K028	組織切開術	1	0.00
K030	四肢、腕肘関節腫瘍摘出術	24	0.11
K035-2	腱鞘腫瘍摘除術	2	0.03
K037	腱鞘合術	3	0.81
K037-2	アキレス腱断裂手術	5	0.01
K039	腱移植術	1	7.95
K040	腱移植術	1	0.08
K043	骨髄炎、骨髄摘手術	1	1.38
K043-3	骨髄炎、骨髄摘手術	1	0.09
K044	骨折非観血的整復術	8	0.02
K045	骨折経皮的鋼線刺入固定術	13	1.45
K046	骨折観血的の手術	120	11.30
K048	骨内異物(挿入物)除去術	14	0.03
K049	骨部分切除術	2	1.21
K050	骨骨摘出術	1	0.49
K052	骨腫瘍切除術	14	0.19
K054	骨切り術	1	8.66
K056	偽関節手術	2	6.10
K058	骨長調整手術	2	11.14
K059	骨移植術	20	29.68
K060-3	化膿性関節炎又は結核性関節炎摘除術	4	2.48
K061	関節脱臼非観血的整復術	2	0.01
K063	関節脱臼観血的の整復術	1	0.41
K065	関節内異物(挿入物)除去術	4	0.21
K065-2	関節内異物(挿入物)除去術(関節鏡下)	1	0.00
K066	関節滑膜切除術	5	1.00
K066-2	関節滑膜切除術(関節鏡下)	2	0.04
K067-2	関節腫瘍摘出術(関節鏡下)	1	0.01
K068-2	半月板切除術(関節鏡下)	9	0.04

Kコード	手術名称	手術材料費	
		件数	等価係数 (平均値の比)
K069-3	半月板縫合術(関節鏡下)	2	1.27
K070	ガングリオン摘出術	3	0.04
K073	関節内骨折観血的の手術	29	9.46
K074	韧带断裂縫合術	4	5.08
K076	観血的関節授動術	2	0.05
K079	韧带断裂形成手術	1	0.12
K079-2	韧带断裂形成手術(関節鏡下)	24	7.48
K080	関節形成手術	7	5.34
K081	人工骨頭挿入術	35	30.94
K082	人工関節置換術	137	16.04
K083	鋼線等による遠達牽引(初日)	1	0.41
K084	四肢切断術	11	0.12
K087	断端形成術(骨形成を要するもの)	2	0.69
K088	切断四肢再接合術	1	0.13
K091	挿入爪手術	2	2.72
K093	手根管開放手術	4	0.02
K093-2	手根管開放手術(関節鏡下)	4	0.01
K100	多指症手術	5	0.11
K108	母指対立再建術	1	0.07
K110-2	第一足指外反症矯正手術	3	2.35
K116	骨種、骨盤骨接合術	1	3.04
K128	骨種、骨盤内異物(挿入物)除去術	7	0.34
K131	複弓切離術	33	0.28
K132	複弓形成手術	45	1.66
K134	複弓摘除術	26	0.28
K142	骨種固定術	12	50.70
K144	体外式骨種固定術	1	0.01
K145	穿通脳室ドレーナージ	13	0.66
K147	穿通術(トレスパチオン)	8	1.00
K148	脳腫瘍摘除術	1	3.86
K149	流注閉塞術	7	3.03
K150	脳腫瘍摘除術	2	0.22
K160-2	頭蓋内微小血管減圧術	5	5.74
K161	頭蓋内腫瘍摘出術	1	1.60
K164	頭蓋内腫瘍摘除術(開頭して行うもの)	9	4.35
K164-2	慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	47	0.45
K164-4	定位的脳内血腫除去術	9	0.50
K168	脳切除術	1	2.17
K169	頭蓋内腫瘍摘出術	51	3.50
K171	経鼻的下垂体腫瘍摘出術	9	0.40
K174	水頭症手術	28	12.31
K175	脳動脈瘤摘出術	1	14.35
K177	脳動脈瘤摘出術クリッピング	44	7.46
K178	脳血管内手術	29	38.86
K178-2	経皮的脳血管形成術	9	14.29
K178-3	経皮的脳血管形成術-重荷治療術	2	14.78
K180	頭蓋骨形成手術	2	74.61
K182-2	神経交通縫合術	2	2.64

Kコード	手術名称	手術材料費	
		件数	等価係数 (平均値の比)
K699	腫瘍石手術	2	7.09
K702	脳体尾部腫瘍切除術	2	1.72
K703	脳体部腫瘍切除術	19	1.19
K711	腫瘍摘出術	9	1.06
K714	腫瘍摘出術	18	1.61
K714-2	腹腔鏡下腫瘍摘出術	2	2.25
K716	小腸切除術	60	0.81
K718	虫垂切除術	38	0.09
K718-2	腹腔鏡下虫垂切除術	10	0.16
K719	結腸切除術	111	1.02
K719-2	腹腔鏡下結腸切除術	30	0.27
K719-3	腹腔鏡下結腸癌性腫瘍切除術	39	0.24
K721	内視鏡的結腸ポリープ・粘膜切除術	48	0.12
K721-2	内視鏡的大腸ポリープ切除術	10	0.05
K722	小腸結腸内視鏡的止血術	7	0.00
K724	腸吻合術	4	0.10
K725	腸瘻・虫垂瘻造設術	1	1.00
K726	人工肛門造設術	36	0.57
K729	腸閉塞手術	1	2.07
K730	小腸瘻閉鎖術	1	0.13
K731	結腸瘻閉鎖術	1	0.41
K732	人工肛門閉鎖術	22	0.35
K735-2	小腸・結腸狭窄部拡張術(内視鏡によるもの)	1	0.04
K740	直腸切除・切断術	53	0.90
K740-2	腹腔鏡下直腸切除・切断術	13	0.36
K742	直腸脱手術	11	0.25
K743	痔核手術(脱肛を含む)	19	0.06
K743-3	脱肛根本手術	2	0.05
K744	脱肛又は肛門潰瘍根治術	1	0.07
K746	痔瘻根治術	11	0.06
K747	肛門良性腫瘍・肛門ポリープ・肛門尖圭コンジローム切除術	1	0.04
K748	肛門悪性腫瘍手術	3	1.16
K751	直腸手術	2	2.24
K752	肛門形成手術	3	0.05
K754-2	腹腔鏡下副腎摘出術	7	0.19
K756	副腎悪性腫瘍手術	8	0.28
K764	経皮的尿管結石除去術(経皮的腎鏡遠視術を含む)	1	1.23
K768	体外衝撃波腎・尿管結石破砕術(一連につき)	10	0.80
K769-2	腹腔鏡下腎部分切除術	5	0.38
K772-2	腹腔鏡下腎摘出術	1	0.33
K773	腎(尿管)悪性腫瘍手術	7	0.96
K773-2	腹腔鏡下腎(尿管)悪性腫瘍手術	19	0.55
K775	経皮的腎(尿管)遠視術	14	1.01
K778-2	腹腔鏡下腎盂形成手術	1	0.74
K781	経皮的尿管結石除去術(超音波下に行った場合も含む)	16	4.26
K783	経皮的尿管拡張術	12	1.10
K783-2	経皮的尿管ステント置入術	62	1.46
K783-3	経皮的尿管ステント抜去術	1	1.20
K784-2	尿管閉鎖術	3	0.77

Kコード	手術名称	手術材料費	
		件数	等価係数 (平均値の比)
K785	経尿道的腎盂腎腫瘍摘出術	1	1.92
K797	膀胱内凝血除去術	6	0.18
K798	膀胱結石・異物摘出術	23	3.84
K800	膀胱癌根治術	1	0.10
K800-2	経尿道的電気凝固術	4	0.10
K803	膀胱癌悪性腫瘍手術	104	0.13
K805	膀胱癌遠視術	7	0.50
K813	尿道周囲腫瘍切除術	1	0.16
K817	尿道癌性腫瘍摘出術	1	0.16
K819	尿道下裂形成手術	2	0.09
K821	尿道狭窄内視鏡手術	9	0.08
K823	尿失禁手術	1	0.02
K828	包茎手術	4	0.03
K832	精巣摘出術	2	0.04
K833	精巣上体摘出術	1	0.10
K833	精巣悪性腫瘍手術	4	0.22
K834	精巣静脈手術	1	0.03
K834-2	腹腔鏡下内視鏡精巣結紮術	1	0.10
K835	精囊水腫手術	4	0.04
K836	睪管精巣固定術	3	0.01
K841	経尿道的前立腺手術	64	0.15
K841-2	経尿道的レーザー前立腺切除術	2	0.14
K843	前立腺悪性腫瘍手術	8	0.78
K843-2	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	37	0.18
K849	女子外性器腫瘍摘出術(造設術を含む)	2	0.12
K852	陰茎裂開縫合術(分娩時を除く)	1	0.00
K856-4	陰茎尖圭コンジローム切除術	8	0.14
K860	陰茎形成手術	2	0.60
K861	子宮内腺腫摘術	5	0.02
K863-2	子宮鏡下子宮中隔切除術・子宮内腔色素切除術	6	0.01
K865	子宮脱手術	17	0.08
K867	子宮頸部(腹部)切除術	12	0.05
K867-3	子宮頸部摘出術(短縮切断術を含む)	1	0.10
K872	子宮筋腫摘出(核出)術	22	1.13
K872-2	腹腔鏡下子宮筋腫摘出(核出)術	10	0.31
K872-3	子宮鏡下子宮筋腫摘出(核出)術	5	0.01
K873	子宮鏡下子宮筋腫摘出術	63	0.52
K877	子宮全摘術	20	0.09
K877-2	腹腔鏡下腹式子宮全摘術	13	0.65
K879	子宮悪性腫瘍手術	13	0.65
K886	子宮付属器癌根治術(両側)	4	1.56
K887	卵巣部分切除術(腹式を含む)	2	0.48
K888	子宮卵巣癌悪性腫瘍摘出術	103	0.49
K888-2	卵管全摘術・卵巣腫瘍全摘除術・子宮卵巣留置手術	1	0.10
K889	子宮卵巣癌悪性腫瘍手術(両側)	5	1.25
K893	吸引脱出術	2	0.01
K897	頸管委縮縫合術(分娩時)	1	0.02
K898	帝王切開術	145	1.08
K901	子宮双子宮圧迫術(大動脈圧迫術を含む)	1	0.02

Kコード	手術名称	手術材料費	
		件数	等価係数 (平均値の比)
K902	胎盤用手刺離術	2	0.05
K906	子宮頸管縫縮術	4	0.09
K909	産産手術	10	0.00
K909-2	子宮内容除去術(不全流産)	3	0.01
K912	子宮外妊娠手術	5	0.23
K920	輸血	549	10.94
K920-2	輸血管理料	6	10.74
K923	術中所後自己血回収術(自己血回収器具によるもの)	162	7.97

※等価係数は、K633 ヘルニア手術を基準(1.00)として相対化した値である。なお、材料費等価係数は診療報酬点数を用いて算出している。

当該手術の材料費(点数)平均
 当該手術の等価係数 = $\frac{\text{当該手術の材料費(点数)平均}}{\text{K633の材料費(点数)平均}}$

(2) 検査

Dコード	検査名称	検査材料費	
		件数	等価係数 (平均値の比)
D005	血液形態・機能検査	6	0.05
D012	感染症免疫学的検査	2	0.40
D026	検体検査判断料	3	0.56
D200	スライドガラス等検査	72	0.01
D203	顕微鏡検査	70	0.09
D206	心臓カテーテル法による経検査	843	5.73
D207	尿沈渣測定	1	6.89
D210	ホルダー-藍心電図検査	3	4.59
D215	超音波検査	3	0.04
D223	経皮的動脈血酸素飽和度測定	9	0.05
D325	視血的動脈圧測定	6	0.55
D255	顕微鏡検査	2	0.03
D256	超音波カメラ撮影	567	0.10
D273	顕微鏡検査(前視鏡)	1	0.03
D302	気管支ファイバースコープ	13	0.01
D303	膀胱鏡検査	2	0.84
D304	縮腎鏡検査	2	0.31
D306	尿道ファイバースコープ	2	0.02
D308	胃・十二指腸ファイバースコープ	52	1.00
D309	胆道ファイバースコープ	1	1.91
D310	小腸ファイバースコープ	1	0.03
D312	直腸ファイバースコープ	4	2.30
D313	大腸ファイバースコープ	159	0.35
D317	経尿道尿道ファイバースコープ	2	0.22
D319	腎臓尿管ファイバースコープ	3	1.09
D402	後頭下穿刺	1	0.31
D415	経気管肺生検法	8	0.04
D416	臓器穿刺・組織採取	2	0.70
D417	組織試験採取・切除法	26	0.03

※等価係数は、D308 胃・十二指腸ファイバースコープを基準(1.00)として相対化した値である。なお、材料費等価係数は診療報酬点数を用いて算出している。

当該検査の材料費(点数)平均
 当該検査の等価係数 = $\frac{\text{当該検査の材料費(点数)平均}}{\text{D308の材料費(点数)平均}}$

医療機関の部門別収支に関する調査の今後の方針について(案)

1. 経緯

「医療機関の部門別収支に関する調査」は、平成15年3月28日の閣議決定に基づき、診療報酬体系に医療機関のコスト等を適切に反映させるため、医療機関の診療科部門別収支の統一的な計算手法を開発することを目的とし、平成15年度から調査研究を開始した。

※健康保険法等の一部を改正する法律附則第2条第2項の規定に基づく基本方針
(平成15年3月28日 閣議決定)

第3 診療報酬体系

3 具体的な方向

(2) 医療機関のコスト等の適切な反映

入院医療について必要な人員配置を確保しつつ、医療機関の運営や施設に関するコスト等に関する調査・分析を進め、疾病の特性や重症度、看護の必要度等を反映した評価を進めるとともに、医療機関等の機能の適正な評価を進める。

2. 平成20年度調査に関する評価について

以後、「医療機関のコスト調査分科会」において研究・検討を重ね、平成20年度においては、平成19年度までの成果を用いた「調査」を試行的に行った。

その結果は、平成19年度までの研究での結果と概ね同様の傾向を示すなど、調査結果も安定しており、「精度の高い調査となった」と評価することができる。

3. 課題

一方、これまでの取り組みにおいて、

- ① 調査客体となり得る医療機関が結果的に DPC 対象病院、準備病院に限られてきている、
- ② 調査項目によっては本調査のために別途データを取るなど、調査客体医療機関の負担が大きい、

といった課題が生じているところである。

今後、本調査を平成15年3月の閣議決定を踏まえた診療報酬改定の基礎資料としていくためには、これまでの取り組みの成果を生かしつつ、経営規模やDPC 採用の有無に左右されない、可能な限り多様な医療機関のデータを用いることができるよう、医療機関にとってより調査参加が容易なものとすべきと考えられる。

(3) 画像診断

Eコード	画像診断名称	画像診断材料費	
		料数	等価係数 (平均値の比)
E001	放射線診断	14284	0.99
E002	放射線診断	6671	0.47
E003	放射線診断	95	1.09
E004	放射線診断	7	0.57
E005	放射線診断	74	0.79
E006	放射線診断	9	0.47
E007	放射線診断	113	0.92
E008	放射線診断	14541	1.00
E009	放射線診断	1450	1.16
E010	放射線診断	66	0.70

※等価係数は、E200 コンピュータ断層撮影を基準 (1.00) として相対化した値である。なお、材料費等価係数は診療報酬点数を用いて算出している。

当該画像診断の等価係数 = $\frac{\text{当該画像診断の材料費 (点数) 平均}}{\text{E200 の材料費 (点数) 平均}}$

4. 今後の方針(案)
 以上のことを踏まえて、平成21年度においては、平成20年度調査に参加し、最後まで調査に参加した医療機関及び途中で調査を辞退した医療機関に対し、本調査における負担や問題点等を調査し、その結果を参考に今後の調査に向けた簡素化の方法について検討してはどうか。

2

(参考)調査項目と病院の負担に関するアンケート調査

○アンケートを依頼、回答した病院

調査進捗の状況	依頼病院数	回答病院数(病院名)
調査票を順調に提出した病院	4	2 (A・B)
調査票の提出に時間を要した病院	4	2 (C・D)
部門別収支が算定できなかった病院(ただし、大半の調査票は作成済)	3	1 (E)

上記のとおり対象病院を3つに分け、その中から無作為抽出でアンケート用紙を送付した。

○病院別の回答内容

調査名	データ項目	提出までの作成状況(アルファベットは回答病院名)				自由記入欄(作業負担等) (アルファベットは回答病院名)
		既存のデータをそのまま利用	既存のデータを加工して利用	別途病院内で調査し、新たに作成	最終的に作成出来なかった	
レセプト調査	レセプトデータ・Eファイル(DPC対象病院はDファイルも含む)	A B C	D E			
部門設定調査	病棟・携務診療科とレセプト診療科の対応、その他の部署の分類	B	A	E	C D	C: 通常は内科、外科、小児科で区分している。
収支状況調査	①-2 病棟別延べ入院患者数	A B C	D E			
	①-3 診療科別延べ外来患者数	A B C	D E			
	①-4 1ヶ月分、1年分の損益計算書		A C D E	B		
	①-5 1ヶ月分の職種別人数総計と給与総額	C	A	E	B D	
	②-1 診療科・部署別の保険外収益		A C	B D E		A: 中央部門別の収益を出すことは負担が大きすぎる。 E: 調査用に整理するのが負担。
	②-2 中央診療部門の保険外収益の診療科への対応づけ			A B C E		A: 中央部門別の収益を出すことは負担が大きすぎる。 C: 非常に困難であった。 D: 該当なし。
	③ 医師以外の職種別職員数(病棟・診療科・中央診療部門等)		A C	B D E		
	③ 延べ床面積	B	A C D E			C: 部門別の詳細な延べ床面積は把握できず、困難であった。
実施場所調査	手術の実施場所の割合	C	A D	B E		
	検査の実施場所の割合		A C D	B E		A: 検査の実施場所が、採血をした場所、検査の依頼をかけた部署、検査を実施している場所(委託先)の、どれを指しているのかわからない。また、一枚のシートでこれら複数の情報を入手しようとしているような作りも、わかりにくかった。
	画像診断の実施場所の割合	C	A D	B E		
医師勤務調査	医師個人の月給	C	A D	B E		
	医師の勤務時間割合		A C	B D E		A: 勤務時間割合はデータを提供、収集する人間の主観によって数値が変わってしまうので、負担の大小以前に時間をかけることそのものがもたないか懸念してしまう。 D: 病棟外来等の把握はできていないので手間がかかった。 E: 人数が多いので非常に負担。

(参考) 平成20年度医療機関の部門別収支に関する調査の実績

調査対象とする病院の目標数	140病院	
調査参加を依頼した病院数	597病院	
うち、当初依頼病院数	348病院	
うち、追加依頼病院数	249病院	
参加応諾した病院数	190病院	
うち、途中で脱落した病院数	63病院	
最後まで調査に参加した病院数	127病院	うち DPC対象病院91病院 DPC準備病院36病院

②

「社会医療診療行為別調査」の検証等に関する
ワーキンググループの設置について

1. 目的

社会医療診療行為別調査は、政府管掌健康保険、組合管掌健康保険、国民健康保険及び長寿医療制度における医療の給付の受給者にかかる診療行為の内容、傷病の状況、調剤行為の内容及び薬剤の使用状況等を明らかにし、医療保険行政に必要な基礎資料を得ることを目的として、年1回、厚生労働省統計情報部が実施している調査であり、中央社会保険医療協議会においては、そのデータを、改定の議論に活用している。

今般、中央社会保険医療協議会・基本問題小委員会において、「平成20年社会医療診療行為別調査」結果と「最近の医療費の動向(メディアス)」との間で一部乖離が指摘されたところであり、その原因の検証等のため、ワーキンググループを設置するものである。

2. ワーキンググループメンバー

別添「社会医療診療行為別調査の検証等に関するワーキンググループメンバー」参照

3. 検討内容等

本ワーキンググループの検討内容は以下のとおりとし、検討結果を中央社会保険医療協議会・基本問題小委員会へ報告する。

(1) 「社会医療診療行為別調査」と「最近の医療費の動向(メディアス)」との乖離の程度、原因等に関する検証

(2) その他

4. 事務局

庶務は、厚生労働省保険局医療課が行う。

5. その他

その他運営に関し必要な事項は、座長が基本問題小委員長と協議の上決定する。

社会医療診療行為別調査の検証等に関する

ワーキンググループメンバー

池田 俊也 (国際医療福祉大学教授)

遠藤 久夫 (学習院大学経済学部教授)

白石 小百合 (横浜市立大学国際総合科学部教授)

森 宏一郎 (東京大学生産技術研究所研究協力員)

(五十音順)